

AUTO MESSENGER  
れんら君  
設定ソフト取扱説明書

V-2.12

本製品を安全に正しくご使用いただくためにこの取扱説明書をよく  
お読みになり、内容を理解された上でご使用ください。  
また本取扱説明書を大切に保管され保守、点検時にご活用ください。

N K E 株式会社

EUNCMRP11-804M

## 取扱説明書変更履歴

バージョン	日付	変更内容
EUNCMRP11-804A (V-2.0)	2009.02.24	れんら君設定ソフトの統合版初版
EUNCMRP11-804B (V-2.1)	2009.03.13	P10 「5 インストール」 誤記訂正
EUNCMRP11-804C (V-2.2)	2009.05.07	P22 「10 れんら君のネットワーク環境設定例」 追加 P78 「16-2 トラブルシューティング」 誤記訂正
EUNCMRP11-804D (V-2.3)	2009.08.25	動作環境OSにWindows VISTAを追加それに伴い P10, P17にWindows VISTAの記述を追加 誤記訂正等
EUNCMRP11-804E (V-2.4)	2009.11.06	P61にコメントメールのSTATUSイベントでの表示項目詳細を追加
EUNCMRP11-804F (V-2.5)	2009.12.09	設定チェックシートを削除 (CD-ROM内に別ファイルとして格納) パナソニックWebカメラ用CGI設定項目を追加 (UNC-RP25P2Aのみ対応)
EUNCMRP11-804G (V-2.6)	2010.04.01	動作環境OSにWindows 7 を追加それに伴い P10, P17にWindows 7 の記述を追加 P10 インストールされるActivXコントロールの詳細を追加 P52 「12-7-3 検出履歴」 機能を追加
EUNCMRP11-804H (V-2.7)	2011.04.01	「11-2 メールテスト送信」 の記述を追加 れんら君と非接続時でも設定ファイルを作成、編集できるように 改良それに伴い P39, P40, P41に「12-2 設定データの新規作成」 の記述を追加 「12-7-3 IPアドレスを指定して接続」 の記述を追加 誤記訂正等
EUNCMRP11-804I (V-2.8)	2012.03.15	P12 れんら君設定ソフトの最新バージョンに関する注意書きを追加
EUNCMRP11-804J (V-2.9)	2012.07.20	P79 “更新履歴より 重要な不具合更新内容を抜粋” を追加
EUNCMRP11-804K (V-2.10)	2012.09.10	P63 コメントメール “FSHOT” の説明を訂正 P10 動作環境の誤記修正 トラブルシューティングの見出し変更および項目追加
EUNCMRP11-804L (V-2.11)	2012.12.11	動作環境OSにWindows 8 を追加それに伴い P10, P17にWindows 8 の記述を追加 誤記訂正
EUNCMRP11-804L (V-2.12)	2014.04.03	誤記訂正

## ご注意

- 本書の内容に関しましては将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の一部または全部を無断で転載することは禁止されています。
- 本書の内容に関しまして誤りや記載もれなどお気づきの点がございましたら、お手数ですが弊社までお知らせください。

## はじめに

このたびは本製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。  
正しくご使用いただくためにこの取扱説明書をよくお読みください。

### 安全にまた正しくお使いいただくために

#### 注意

- 本製品は必ず仕様範囲内でお使いください。
- 配線作業を行うときは必ず電源を切ってください。
- 本製品標準型である端子台型と接続する電源はDC24V安定化電源をご使用ください。
- LAN伝送ラインや入出力ラインは高圧線や動力線と離してご使用ください。
- 誤配線はトラブルの原因となります。接続用端子の信号表示にあわせて接続してください。
- 静電気や衝撃などに十分注意してお取り扱いください。
- 本製品は宇宙、航空、医療、原子力、運輸、交通、各種安全装置など人命、事故にかかわる特別な品質、信頼性等が要求される用途でご使用にならないでください。

## 保証について

本製品の保証は日本国内で使用する場合に限ります。

- 保証期間

納入品の保証期間は納入後1ヶ年とします。

- 保証範囲

上記保証期間中に本取扱説明書に従った製品使用範囲内の正常な使用状態で故障を生じた場合は、その機器の故障部分の交換または修理を無償で行います。

ただし、次に該当する場合はこの保証の範囲から除外させていただきます。

- (1) お客様の不適切な取り扱い、ならびに使用による場合。
- (2) 故障の原因がお客様の事由による場合。
- (3) お客様の改造または修理による場合。
- (4) その他、天災、災害等で納入者の責にあらざる場合。

ここでいう保証は納入品単体の保証を意味するもので、納入品の故障により誘発される損害はご容赦いただきます。

- 有償修理

保証期間後の調査及び修理は全て有償となります。また保証期間中においても、上記保証範囲外の理由による故障の修理及び故障の原因調査（保証範囲の場合を除く）は有償にてお受け致します。修理に関するご依頼はお買い上げの販売店にお申しつけください。

- 部品のご注文、お問い合わせ

製品の故障、部品のご注文、その他お問い合わせの節は、次の事項をお買い上げの販売店まで詳しくご連絡ください。

- (1) 型式
- (2) 製造ロット番号
- (3) 不具合の内容、配線図等

## 目次

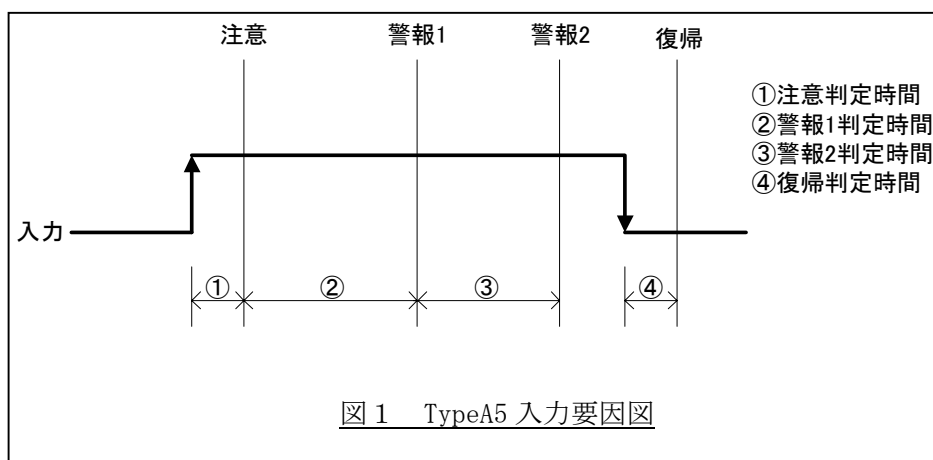
取扱説明書変更履歴 .....	2
1 設定ソフト概要 .....	8
2 従来のれんら君設定ソフトとの違いについて.....	9
3 れんら君設定ソフト サポート機種 .....	9
4 動作環境.....	10
4-1 データ通信に使用しているパソコンのポート番号 .....	10
4-2 設定ソフトのインストール時にパソコンに組み込まれるACTIVXコントロール .....	10
5 セットアップ .....	11
6 アンインストール.....	11
7 れんら君にメール設定をする前の準備 .....	12
7-1 ルーターの設定を確認する。 .....	12
8 画面.....	13
8-1 れんら君設定ソフト画面 .....	13
9 設定.....	15
9-1 れんら君を設定する。 .....	15
10 れんら君のネットワーク環境設定例 .....	22
10-1 一般的な環境.....	23
10-2 プロキシ環境 .....	24
10-3 メールサーバー環境 .....	25
10-4 モバイルルーター環境.....	26
11 れんら君に登録するメールを作成します.....	27
メール登録における制限事項.....	27
11-1 メールを作成 .....	28
11-2 メールテスト送信 .....	29
11-2-1 メールサーバーから切断されたときのエラーメッセージ .....	30
11-2-2 メールサーバーと接続できないときのエラーメッセージ .....	31
11-2 登録したメールの編集 .....	32
11-3 メールのコピー .....	36
11-4 メール複製 .....	36
11-5 メール管理形態 .....	37
11-6 設定をれんら君に保存 .....	38
11-7 れんら君から設定を読み出しする .....	40
12 メニューバーの構成と機能 .....	41

12-1	ファイルメニュー	41
12-2	設定データの新規作成 (設定ソフトver2.5.5から追加された機能)	41
12-3	セーブ	42
12-4	ロード	43
12-4	プレビュー	44
12-5	インポートおよびエクスポート	45
12-5-1	インポート	46
12-5-2	エクスポート	47
12-6	終了	47
12-7	ツールメニュー	48
12-7-1	デフォルトハートスタート	48
12-7-2	ステータス情報	49
	UNC-RP05の場合	49
	UNCM-RP11の場合	50
12-7-3	IPアドレスを指定して接続	51
12-7-3	検出履歴 (設定ソフトver2.5.1から追加された機能)	52
12-8	ヘルプメニュー	54
12-8-1	コンピュータのIPアドレス	54
12-8-2	ホームページ	54
12-8-3	バージョン情報	54
<b>13</b>	<b>セキュリティ</b>	<b>55</b>
13-1	管理者権限認証	55
13-2	遠隔操作を制限する	56
<b>14</b>	<b>コマンドメール機能</b>	<b>57</b>
14-1	コマンドメール機能について	57
14-2	コマンドメールの作成方法	58
14-2-1	コマンドメールのフォーマット	58
14-3	コマンド説明	60
14-4	エラーメッセージ	65
<b>15</b>	<b>れんら君BB TYPEA5 CGI対応版</b>	<b>66</b>
15-1	CGI対応れんら君BB 型式	66
15-2	CGI送出機能概要	66
15-3	れんら君BBの設定	67
15-3-1	ネットワーク設定	67
15-3-2	れんら君BBの検出	67
15-3-3	カメラ情報の設定	68
15-3-4	プロキシサーバの設定	69
15-3-5	CGIトリガーコマンドの設定	70
15-4	CGIファイルの管理形態	73
15-5	CGIトリガーコマンドの実態 (CGIタグ)	74
15-6	CGI送出結果の管理者通報	75
15-6-1	CGI送信障害管理	75
	レスポンス応答例と管理者に通報するメールメッセージ例	76

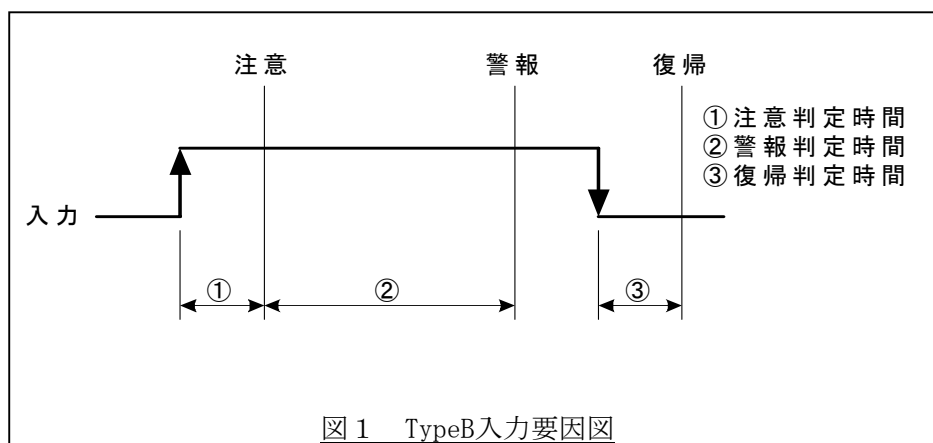
16	れんら君に接続できないときには .....	77
16-1	症状別チェックリスト.....	77
17	トラブルシューティング .....	78
18	更新履歴より 重要な不具合更新内容を抜粋.....	79

## 1 設定ツツ概要

- れんら君 TypeA5 は、外部入力を 4 段階の入力要因【注意】，【警報 1】，【警報 2】，【復帰】に分けて、メールの送信【通知メール】を行います。  
入力点数は 2 点で、1 点毎に【注意】，【警報 1】，【警報 2】，【復帰】時にそれぞれ、通知メールを行います。なお、【注意】，【警報 1】，【警報 2】，【復帰】はそれぞれ従来の設定ツツでは【開始】，【経過 1】，【経過 2】，【終了】と呼んでいるものもあります。
- 設定ツツにはパソコンWebカメラ本体に CGI 検知機能の設定を行うためのツツは用意されていません。必要でありましたら、パソコンWebカメラの販売店にお問い合わせください。



- れんら君 TypeB は、外部入力を 3 段階の入力要因【注意】，【警報】，【復帰】に分けて、メールの送信【通知メール】を行います。  
入力点数は 8 点で、1 点毎に【注意】，【警報】，【復帰】時にそれぞれ、通知メールを行います。



- 本設定ツツは、れんら君の通知メールの設定を行います。
- 本設定ツツを使用すると、Ethernet を経由してパソコンから通知メールの設定やれんら君の設定内容の参照、及び、更新が可能になります。



## 2 従来のれんら君設定ソフトとの違いについて

- ・ 設定値の外部出力による保存ができます。  
従来の設定ソフトでは設定を書き換えていたパソコンにしか保存できませんでした。
- ・ 型式の違うれんら君を本設定ソフトだけで設定することができます。従来の設定ソフトでは型式の違うれんら君の設定はそれぞれの専用ソフトで行っていました。
- ・ SMTP 認証がデフォルト対応になりました。  
従来のれんら君は特注型式の製品にのみ SMTP 認証に対応していました。

## 3 れんら君設定ソフト サポート機種

本設定ソフトは以下の型式の製品に対応しています。

れんら君分類	型式	製品バージョン	備考
TypeA5	UNC-RP05	V1.00～	TypeA5 標準品
	UNC-RP05A	V1.00～	ACアダプタ対応品
TypeA5 CGI れんら君 BB	UNC-RP25P2A	V1.00～	パナソニック Webカメラの CGI 対応 ACアダプタ対応品
TypeB	UNCM-RP11	V2.00～	TypeB 標準品

本設定ソフトはこれまでの製品の設定も行うことができますが、基本的に、それぞれの製品に添付の設定ソフトをお使いください。**従来の製品の設定メールを開くと文字化けが起こります。メールは新規に作り直してください。**これまでの製品一覧は次のようになります。

れんら君分類	型式	製品バージョン	備考
TypeA	UNC-RP01 (A)	V1.**	TypeA 標準品
TypeA4	UNC-RP04 (A)	V1.**	TypeA4 標準品
	UNC-RP04 (A)-Z456	V1.**	SMTP 認証対応品
	UNC-RP04P1 (A)	V1.**	パナソニック PBX 対応品
TypeB	UNCM-RP11	V1.**	TypeB 標準品
	UNC-RP11-Z451	V1.**	SMTP 認証対応品
	UNCM-RP11P1	V1.**	パナソニック PBX 対応品

ここにあげていない特注型式の製品をお使いの方は、本設定ソフトでその特注型式の製品の設定ができないことがあります。恐れ入りますが、その製品に付属の設定ソフトで特注型式の製品の設定を行ってください。

## 4 動作環境

OS	Microsoft® Windows XP (32bit) Microsoft® Windows VISTA (32bit) Microsoft® Windows 7 (32bit) Microsoft® Windows 8 (32bit)
HDD	50MB 以上の空き容量
CD-ROM	標準以上
LANカード	Ethernet : Version 2.0 / IEEE 802.3 準拠の 10BASE-T、100BASE-TX に対応しているもの

注意 1 : 本設定ソフトは、れんら君とのデータ通信にポート 69, 9998, 30719 の番号を使用します。ファイアウォール等のセキュリティ設定で上記のポートの使用に制限をかけると正常に動作しなくなりますので、上記のポート番号は使用可になるように設定してください。本設定ソフトならびにれんら君は IPv6 に対応していません。必ず IPv4 の環境でお使いください。

注意 2 : Windows VISTA、Windows 7、Windows 8 ではれんら君設定ソフトは管理者権限で起動します。

### 4-1 データ通信に使用しているパソコンのポート番号

れんら君が使用しているパソコンのポート番号は次のとおりです。ファイアウォール等で通信が遮断されないようにそれぞれのセキュリティソフトの設定を行ってください。

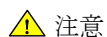
使用ポート番号 : 69、9998、30719

### 4-2 設定ソフトのインストール時にパソコンに組み込まれる ActivXコントロール

れんら君設定ソフトのインストール時に次の ActivXコントロールと DLL がパソコンの system32 フォルダに組み込まれます。

ファイル名	ファイルバージョン
COMDLG32.OCX	6.1.97.82
MSCOMCTL.OCX	6.1.97.86
MSCOMCT2.OCX	6.1.97.82
MSWINSCK.OCX	6.1.97.82
SYSINFO.OCX	6.0.88.77
TABCTL32.OCX	6.1.97.82
Bsmtp.dll	2.7.6.29

## 5 セットアップ



注意

セットアップ CD からインストールされる設定ソフトは最新のバージョンではない場合があります。弊社ホームページから最新バージョンの設定ソフトのインストールを無料でダウンロード頂けますので、以下の URL からバージョンをご確認いただき、最新のものをインストールして下さい。  
(ダウンロードはこちらから → [http://www.nke.co.jp/product/n\\_index.html](http://www.nke.co.jp/product/n_index.html))

- [1] 添付されているセットアップ CD をパソコンの CD ドライブにセットします。
- [2] しばらくすると、SETUP CD 画面が立ち上がります。画面が立ち上がらないときは、マイコンピュータから CD の中を見ていただき、その中の Autorun. exe をダブルクリックして SETUP CD 画面を立ち上げてください。

[3]

「れんら君設定ソフト セットアップ」をクリックします。  
どちらか片方で構いません。  
同じ物がセットアップされます。

- [4] インストーラが起動しますので「次へ」をクリックします。
- [5] インストールフォルダに問題が無ければ「次へ」をクリックします。
- [6] インストールの確認に問題が無ければ「次へ」をクリックします。
- [7] 「れんら君設定ソフト version \_」は正しくインストールされました。」と表示されたら「閉じる」をクリックします。( \_の部分にはバージョン番号によって異なります)

以上でれんら君設定ソフトのセットアップは終了です。

## 6 アンインストール

【コントロールパネル】 → 【プログラムの追加と削除】 の【プログラムの変更と削除(H)】の一覧から「れんら君設定ソフト」を選択した後、【変更と削除】ボタンをクリックしてください。  
(上記は Windows XP の場合です。)

## 7 れんら君にメール設定をする前の準備

### 7-1 ルーターの設定を確認する。

れんら君はインターネットアクセラターに接続することによってメールの送受信が行えるようになります。そこでインターネットアクセラターに接続するための情報を確認します。確認する情報は、デフォルトゲートウェイと DNSアドレスになります。れんら君は DHCP に対応していませんのでデフォルトゲートウェイと DNSアドレスを個別に設定しなくてはなりません。

OSによって、確認の仕方が異なるため、それぞれの方法を参照ください。なお、情報を確認するためには、以下の方法を実行するパソコンが実運用時のれんら君と同じLAN上に接続されていて、尚且つ、メールの送受信を正常に行えるパソコンでなければなりません。

お使いになられているインターネットアクセラターのデフォルトゲートウェイ、DNSアドレスをご存じの方はこの章を読み飛ばしてください。  
また、SMTPサーバーやPOPサーバーの設定にIPアドレスを使用される方はこの章を読み飛ばしてください。

#### DHCP とは

DHCP とはインターネットに接続するパソコン等の通信機器に IPアドレスやサブネットマスクなど必要な情報を自動的に割り当てる通信手順のこと。これに対応していない機器には手動で必要な情報を割り当てなければならない。

[1]

コマンドプロンプトを起動させます。コマンドプロンプトは「スタート」→「プログラム」→「アクセラ」の中にあります。

「ipconfig /all」を入力してください。下図のようになり、矢印部分がデフォルトゲートウェイおよびDNSアドレスになります。（は半角スペースです。）

```
コマンド プロンプト
(C) Copyright 1985-2001 Microsoft Corp.
C:¥Documents and Settings¥Owner.DELL-F>ipconfig /all

Windows IP Configuration

                中略

IP Address. . . . . : 192.168.0.250
Subnet Mask . . . . . : 255.255.255.0
Default Gateway . . . . . : 192.168.0.1
DNS Servers . . . . . : 192.168.0.1
```

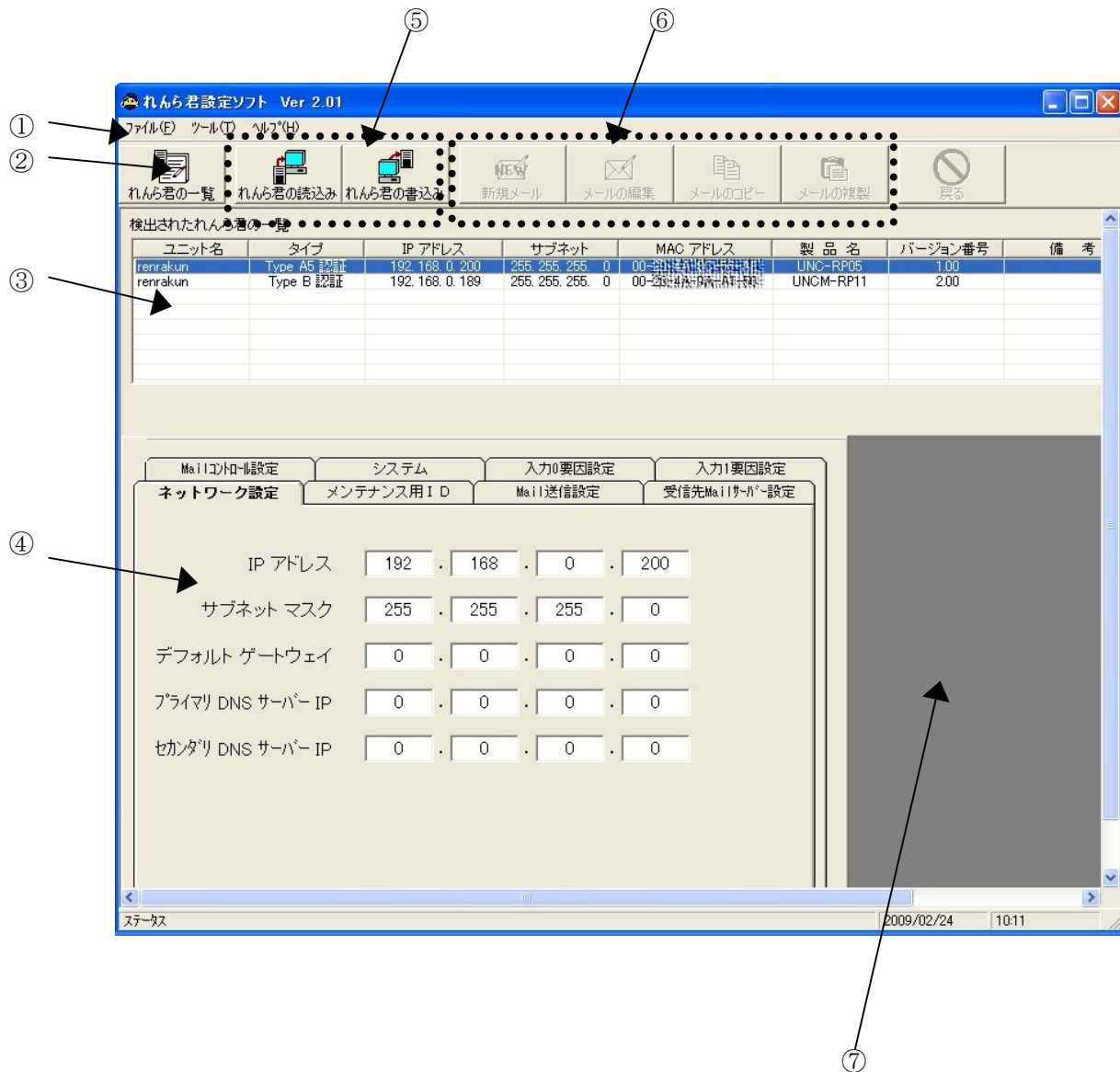
表示例は  
デフォルトゲートウェイ : 192.168.0.1  
DNSアドレス : 192.168.0.1  
になります。

デフォルトゲートウェイ  
DNSアドレス

## 8 画面

### 8-1 れんら君設定ソフト画面

(画像は Ver2.01 のものです。Version によっては表示内容、表示項目に若干差異が生じます。)



## れんら君設定ツツ画面の各項目の意味について

- ①【メニューバー】・・・・・・・・・・ 各種メニューを実行します。  
(メニューバーについて詳細は、後述の 12 章を参照下さい)
- ②【れんら君の一覧】・・・・・・・・ 接続されているれんら君の検出を行います。
- ③【検出されたれんら君の一覧】 検出されたれんら君の一覧を表示します。
- ④【詳細表示】・・・・・・・・・・ れんら君の設定の内容を表示します。
- ⑤【れんら君設定ツツバー】
  - ・【れんら君の読み込み】・・ 指定したれんら君の設定を読み込みます。
  - ・【れんら君の書き込み】・・ 指定したれんら君に設定を書き込みます。
- ⑥【メール作成ツツバー】
  - ・【新規メール】・・・・・・・・・・ メールを新規に作成します。
  - ・【メールの編集】・・・・・・・・ 選択したメールを編集します。
  - ・【メールのコピー】・・・・・・・・ 選択したメールをパソコンのクリップボードにコピーします。
  - ・【メールの複製】・・・・・・・・ パソコンのクリップボードにコピーされているメールの複製を作成します。
  - ・【戻る】・・・・・・・・・・ メール編集を終了します。
- ⑦【登録メール表示】・・・・・・・・ メールレビュー画面です。登録されているメールを簡易表示します。

## 9 設定

9-1 れんら君を設定する。

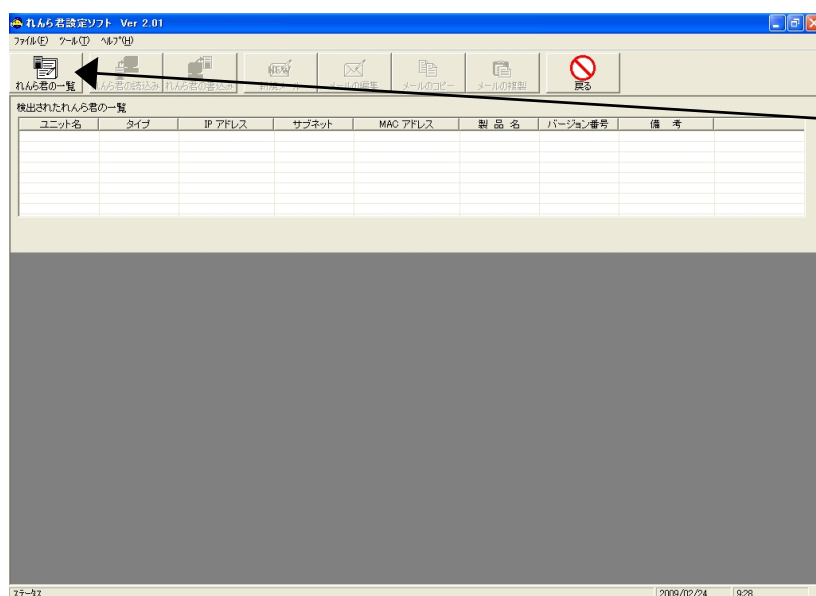
[1] れんら君設定ソフトを起動します。

(「スタート」→「プログラム」→「れんら君設定ソフト」→「れんら君設定ソフト」)

### ⚠ 注意

ファイアウォールによっては、れんら君設定ソフトを起動すると「このプログラムをブロックし続けますか？」等と聞かれことがあります。通信がブロックされないようにファイアウォールを設定してください。設定方法は、それぞれのファイアウォールのドキュメントを参照ください。

[2] れんら君設定ソフトでネットワークに接続されているれんら君を探し、一覧表示します。



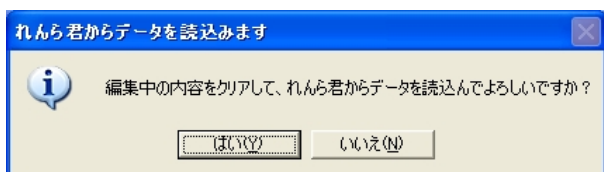
「れんら君の一覧」をクリックします。すると、LANにつながっているれんら君を探して設定ソフトに一覧表示します。

### ⚠ 注意

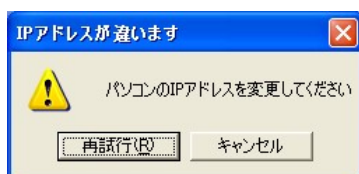
「接続エラー!」「LANケーブルが接続されていません!」というメッセージが出てくる場合があります。このメッセージはLANケーブルが接続されていないときのほかに、ファイアウォールが通信を遮断しているときにも出てきます。

そのときは、ファイアウォールにれんら君設定ソフトの通信の許可を与えてください。

[3] れんら君の一覧の中から設定したいれんら君を選び「れんら君の読み込み」ボタンをクリックするとれんら君の設定情報を読み込みにいきます。初めて接続したれんら君も同様に設定の読み込みを行ってください。



れんら君のデフォルトIPアドレスは「192.168.0.251」、サブネットマスクは「255.255.255.0」です。このときは設定ソフトをインストールしているパソコンのIPアドレスが「192.168.0.\*」、「255.255.255.0」でなければ基本的にれんら君と通信できません。（\*は1～250、252～254の範囲内で任意）通信できないときは次の表示になります。



「キャンセル」ボタンをクリックしてください。そして、パソコンのIPアドレスを変更もしくはIPアドレスを追加してください。（Windowsパソコンは複数のIPアドレスを登録できます。）

また、パソコンに複数のEthernetアダプタが存在する場合、接続前に次のウィンドウが表示されます。



パソコンの Ethernetアダプタの違いにより、表示は異なります。

れんら君が接続されている Ethernetアダプタを選択して、「決定」ボタンをクリックしてください。「詳細」ボタンから、それぞれの Ethernetアダプタの IPアドレス、MACアドレス、ローカルホスト名等が確認できます（12-8-1 コンピュータの IPアドレス 参照）。

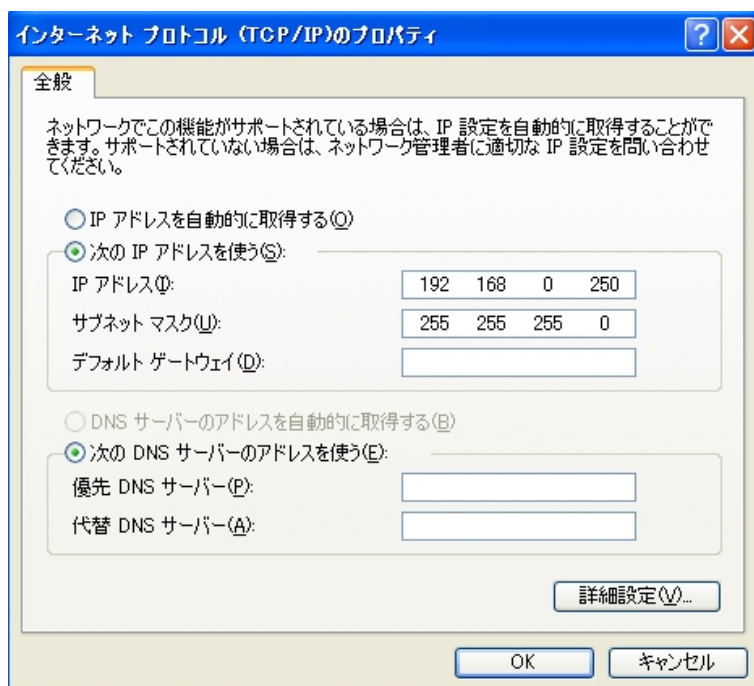


パソコンの IPアドレスの変更、追加はマイネットワーク設定で行います。WindowsXP の時は次のように行います。

「スタート」 → 「設定」 → 「ネットワーク接続」 → 「ローカルエリア接続」 → 「プロパティ」とたどり「インターネット プロトコルTCP/IP」をダブルクリックします。

Windows VISTA、Windows 7、Windows 8 ではネットワーク設定で行います。

「スタート」 → 「コントロール パネル」 → 「ネットワークの状態とタスクの表示」 → 「ネットワーク(プライベートネットワーク)の接続」の「状態の表示」 → 「ローカルエリア接続の状態」 (Windows 7 では「ローカルエリア接続」) → 「プロパティ」とたどり「インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)」をダブルクリックします。



通常は「IPアドレスを自動的に取得する」にチェックが入っています。

れんら君と接続する為には

「次の IPアドレスを使う」にチェックを入れ左図のように IPアドレスとサブネットマスクに数字を入力します。そして「OK」をクリックしてプロパティを閉じます。

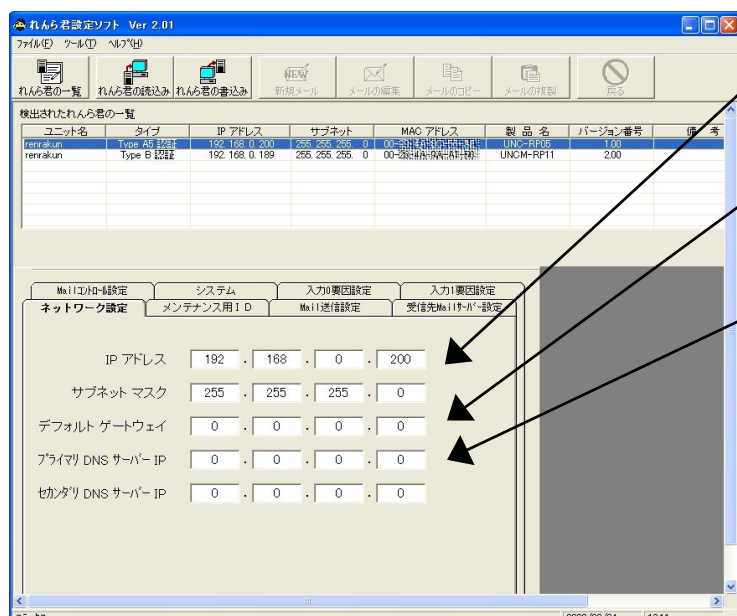
(これは一例です。れんら君の IPアドレスが変更されていたらそれに応じてパソコンの IPアドレスも変更してください。)

**⚠ 注意**

れんら君設定ソフトでれんら君の設定を終え、設定ソフトを終了した後は、「インターネットプロトコルTCP/IP」の設定を元に戻してください。ネットワーク設定を戻さなければご使用のパソコンでインターネット、メールなどのサービスが利用できない可能性があります。

再び「れんら君の読み込み」ボタンをクリックするとれんら君の設定情報を読み込むことができます。

[4] れんら君の一覧の中から設定したいれんら君を選びクリックするとれんら君設定情報画面に切り替わります。れんら君ネットワーク設定タブをクリックして、れんら君の IPアドレス、デフォルトゲートウェイ、サブネットマスク、DNSアドレスを設定します。下記設定画面は UNC-RP05 のものですが、他の機種でも同様に設定してください。



れんら君の IPアドレス, サブネットマスクを入力します

インターネットアクセルターの IPアドレスをデフォルトゲートウェイに入力します

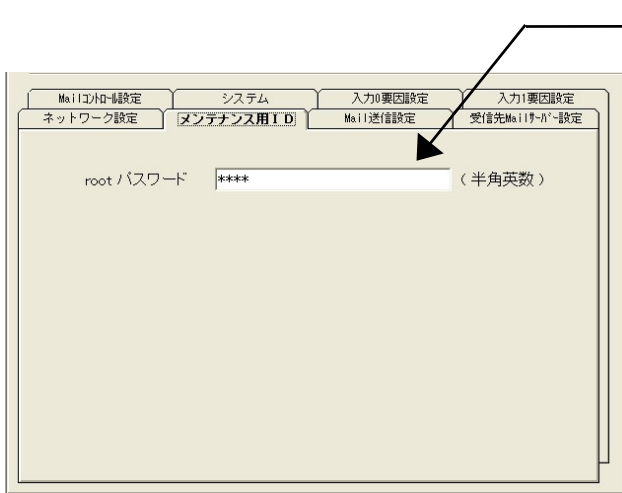
インターネットアクセルターの IPアドレスを DNSアドレスに入力します

サブネットマスクの設定範囲は  
224.0.0.0~255.255.255.252  
(3ビット~30ビット) までです。  
0.0.0.0 を入力しますと自動的に  
224.0.0.0 に変換されます。

検出されたれんら君の一覧には次の情報が表示されます。

エント名	れんら君のエント名です。Mailコントロール設定タブで設定したエント名が表示されます。
タイプ	れんら君のタイプを表示します。UNC-RP05 であれば「TypeA5 認証」 UNCM-RP11 であれば「TypeB 認証」と表示されます。
IPアドレス	れんら君の IPアドレスです。
サブネット	れんら君のサブネットマスクです。
MACアドレス	れんら君の MACアドレスです。
製品名	れんら君の製品名 (型式) です。
バージョン番号	れんら君の組み込みソフトのバージョンを表示します。
備考	れんら君の設定値を変更し、れんら君の一覧の他のれんら君をクリックしたとき 「変更あり」と表示されます。れんら君の認証パスワードがデフォルトパスワードと異なる ときは「パスワードが違います」と表示されます。

[5] 他のタブも下図のように入力します。



れんら君認証用パスワードです。  
デフォルトは「root」です。  
パスワードを変更するときは右記に従ってください。

任意のキーで編集がイテグが表示されます

パスワードの変更  
変更する新しいパスワードを入力してください。

①変更するパスワードを入力する  
大文字、小文字を区別します。

パスワード

確認 取消

②確認をクリック

パスワードの変更  
変更後のパスワードを再度入力してください。

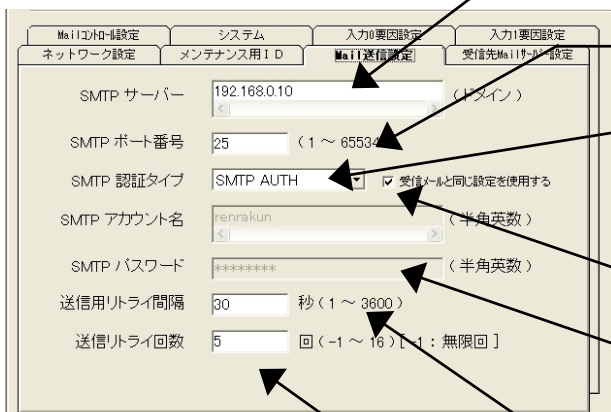
③①を再入力する

パスワード \*\*\*\*

確認 取消

④確認をクリック

**Rootパスワードの設定値は、必ず控えをとって下さい。**



プロバイダから与えられたSMTPサーバーを入力します。

通常は「25」や「587」です。

SMTP認証タイプを選択します。

SMTP認証タイプで「SMTP\_AUTH」を選択した場合のみ、下記①、②いずれかの設定をします。

① SMTPアカウント名とSMTPパスワードが受信メールと同じ設定を使用する場合は、します。

② 受信メールと違う設定を使用する場合、SMTPアカウント名とSMTPパスワードを入力します。

送信エラーから次に送信動作をするまでの間隔を入力します。

リトライを繰り返す回数の設定です。

— 1回の設定の場合、回数制限なくリトライを繰り返します。

Mailコネクタ設定	システム	入力0要因設定	入力1要因設定
ネットワーク設定	メンテナンス用ID	Mail送信設定	受信先Mailコネクタ設定
POP3 サーバー	192.168.0.10	(ドメイン)	
POP3 ポート番号	110	(1 ~ 65534)	
POP3 認証タイプ	POP3		
POP3 アカウント名	renrakun	(半角英数)	
POP3 パスワード	*****	(半角英数)	

プロバイダから与えられた POP3サーバーを入力します。

POP3ポートは通常「110」です。

POP3 認証タイプを選択します。通常「POP」です。

プロバイダから与えられたメールアドレスとパスワードを入力します。

ネットワーク設定	メンテナンス用ID	Mail送信設定	受信先Mailコネクタ設定
Mailコネクタ設定	システム	入力0要因設定	入力1要因設定
ユニット名	renrakun	(半角英数)	
ユーザー名	ren	(半角英数)	
パスワード	***	(半角英数)	
POP3 問い合わせ間隔	1	分 (0 ~ 65500)	
返信用 From アドレス	renrakun@nke.demo	(メールアドレス)	

任意なユーザー名とパスワードを半角英数で入力して下さい。コマンドメール機能を使用するときに必要になります。

問い合わせ間隔はれんら君がメール受信をする時間間隔です。

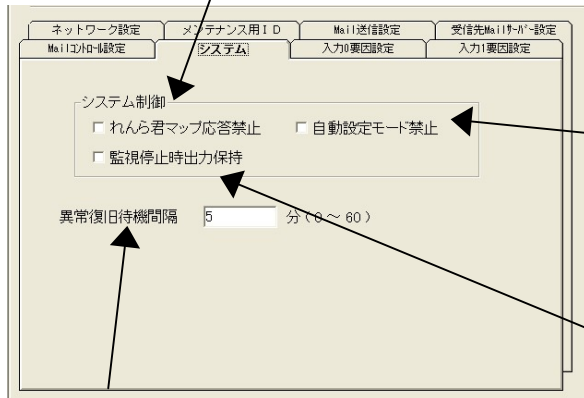
0分の場合は、問い合わせをしません。コマンドメールを使用する場合は 1 分以上の値を設定してください。

プロバイダから与えられた E-mailアドレスを入力してください。

#### ユニット名について

ユニット名は、それぞれのれんら君に固有の名前にしてください。れんら君設定ソフトから複数のれんら君を管理するとき判別するのに便利です。また、コマンドメール機能を使用するとき、ユニット名称が、メール返信元名となります。1つのメールアドレスを複数のれんら君に使用するときメール返信元を判別するのに便利です。

(コマンドメールについての詳細は、後述の [14章](#) を参照ください。)



異常発生から復旧までの待機時間を入力します。0分の場合、復旧しません。

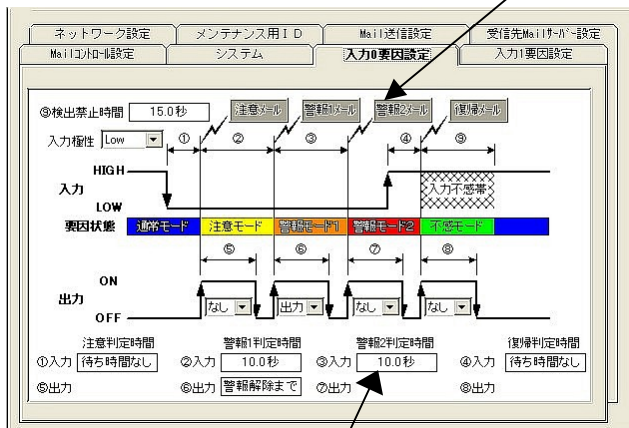
れんら君の一覧で検出されないように存在を隠す場合にチェックを付けます。

これを設定した後、れんら君の設定変更ができなくなるので注意してください。

設定更新時にれんら君が自動で設定モードになることを禁止する場合は、チェックを付けます。この場合は、手動で設定モードに切り替えなければ、れんら君の設定は更新されません。

入力監視停止時に、実行されている出力処理をクリアせず継続させる場合にチェックを付けます。デフォルトは出力クリアですが、その場合でもコマンドメールによる出力は実行されます。

システム制御について  
通常は設定する必要はありません。主に匿名のれんら君に対する問い合わせや設定の更新などの遠隔操作に制限を設けます。制限を設けることでセキュリティの向上を図れます。



れんら君に外部入力があったときの動作を設定します。

左図の例では、入力が入ってすぐに注意メールを送信します。

その後、入力が10秒継続すると警報1メールが送信され、出力がONします。

さらに、入力が10秒継続すると警報2メールが送信されます。

入力がなくなると同時に復帰メールが送信され、出力がOFFとなります。

クリック、又は、任意のキー押下で編集ダイアログを表示します

入力0 要因設定 警報2 判定時間

設定範囲 0.1秒 ~ 59.9秒

判定時間 10.0 秒

OK キャンセル

判定時間の範囲選択

判定時間を入力します

[OK]ボタンをクリック、又は、[Enter]キーを押してください。編集を破棄する場合は、[キャンセル]ボタンをクリック、又は、[Esc]キーを押して下さい。

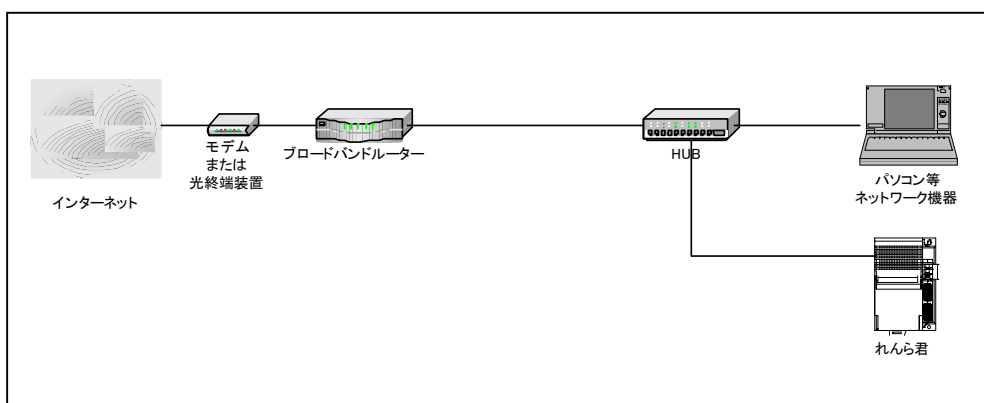
その後の15秒間は入力があっても無視され、動作を行いません。

入力極性を設定できます。左図の例では入力接点がLOW側(6V以下)になったとき注意判定が行われます。入力極性をHighに設定したときは入力端子が0V側から24V側に変化したときに入力判定を行います。

## 10 れんら君のネットワーク環境設定例

れんら君のネットワーク環境設定例です。一般的な環境、プロキシサーバを使用した環境、メールサーバを使用した環境、モバイルルータを使用した環境の4パターンを記載しています。概ね、これらの4パターンのいずれかに当てはまる環境と思われます。

## 10-1 一般的な環境



一般的なインターネット環境での設定例（NTT 西日本のレッツ光プレミアム）です。モデムとブロードバンドルーターは一体型となっている場合があります。

### ブロードバンドルーターの設定

IPアドレス : 192.168.24.1

### パソコン等ネットワーク機器（通常お使いになれるパソコン）

IPアドレス : 192.168.24.10（固定IPアドレス）や192.168.24.51（DHCP割り当て）など

### れんら君

IPアドレス : 192.168.24.20

サブネットマスク : 255.255.255.0

デフォルトゲートウェイ : 192.168.24.1（ブロードバンドルーターのIPアドレス）

プライマリDNSアドレス : 192.168.24.1（ブロードバンドルーターのIPアドレス）

セカンダリDNSアドレス : 192.168.24.1（ブロードバンドルーターのIPアドレス）

SMTPサーバー : \*.ocn.ne.jp（プロバイダ指定の文字列）

POP3サーバー : \*.ocn.ne.jp（プロバイダ指定の文字列）

SMTPサーバー、POP3サーバーがIPアドレスの時は、DNSアドレスに、0.0.0.0を入力する。

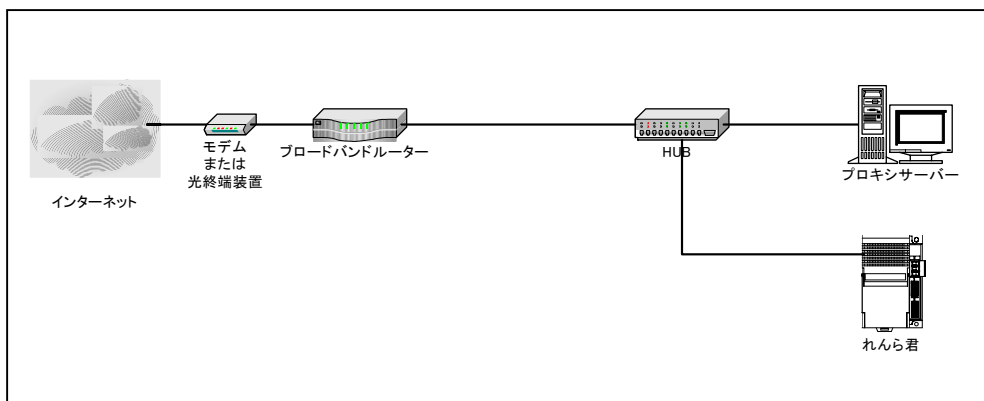
この設定で、れんら君が正常にメール通信を行えないときはプライマリDNSアドレスおよびセカンダリDNSアドレスにプロバイダ指定のIPアドレスを入力してください。例えば、202.\*.\*.\* など。

### **!** 注意

れんら君のデフォルトIPアドレスは192.168.0.251です。れんら君と通信するためには一度パソコンのIPアドレスを192.168.0.10などに変更しなければなりません。パソコンのIPアドレスを192.168.0.10等に変更して、れんら君設定ソフトでれんら君のIPアドレスを192.168.24.20に変更します。そして、再びパソコンのIPアドレスを元に戻します。（192.168.24.10など）

ブロードバンドルーターのIPアドレスが設定例とは違うときは、その値に読み替えてください。例えば、192.168.1.1のときは、パソコンのIPアドレスを192.168.1.10に、れんら君のIPアドレスを192.168.1.20のようにしてください。

## 10-2 プロキシ環境



プロキシサーバを使ったインターネット環境での設定例です。モデムとブロードバンドルーターは一体型となっている場合があります。

### ブロードバンドルーターの設定

IPアドレス : 192.168.24.1

### プロキシサーバの設定

IPアドレス : 192.168.24.10

### れんら君

IPアドレス : 192.168.24.20

サブネットマスク : 255.255.255.0

デフォルトゲートウェイ : 0.0.0.0

プライマリDNSアドレス : 0.0.0.0

セカンダリDNSアドレス : 0.0.0.0

SMTPサーバー : 192.168.24.1 (プロキシサーバの IPアドレス)

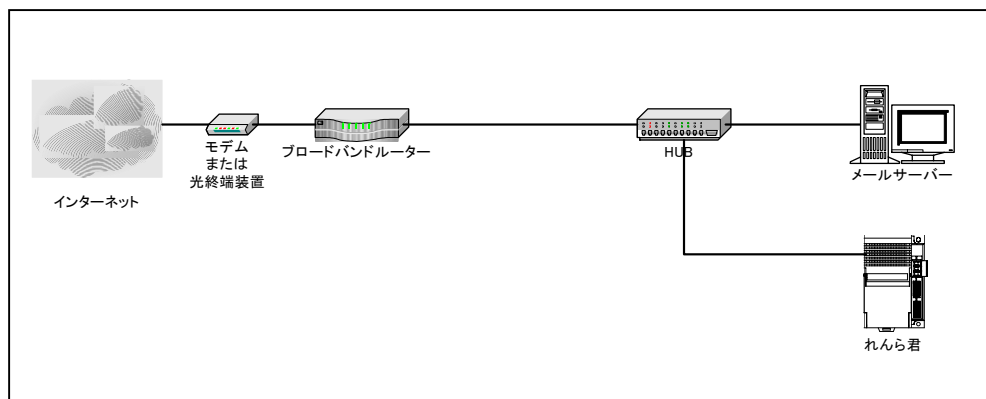
POP3サーバー : 192.168.24.1 (プロキシサーバの IPアドレス)

### **!** 注意

この設定例は、プロキシサーバがメールの送受信を請け負っていることが前提となっています。プロキシサーバが Webブラウザしか対応していないときは、れんら君の設定を一般的な環境での設定例を参考に行ってください。



## 10-3 メールサーバー環境



メールサーバーを使ったインターネット環境での設定例です。モデムとブロードバンドルーターは一体型となっている場合があります。

### ブロードバンドルーターの設定

IPアドレス : 192.168.24.1

### メールサーバーの設定

IPアドレス : 192.168.24.10

### れんら君

IPアドレス : 192.168.24.20

サブネットマスク : 255.255.255.0

デフォルトゲートウェイ : 192.168.24.1 (メールサーバーパソコンの IPアドレス)

プライマリDNSアドレス : 192.168.24.1 (メールサーバーパソコンの IPアドレス)

セカンダリDNSアドレス : 192.168.24.1 (メールサーバーパソコンの IPアドレス)

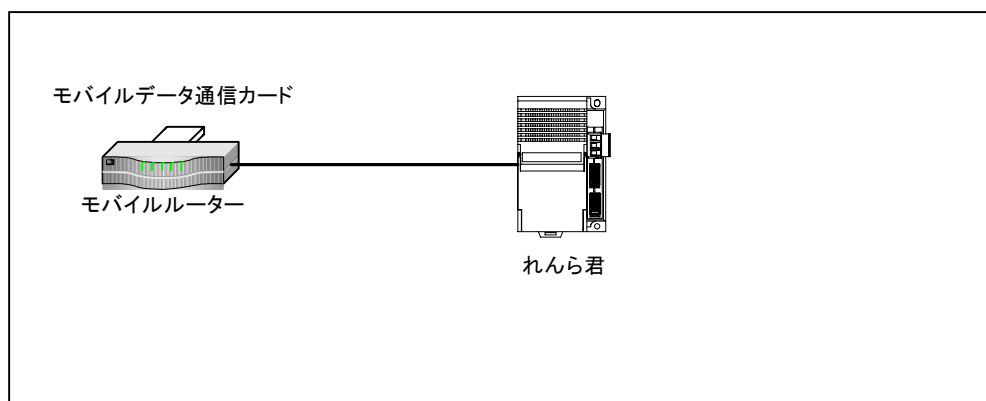
SMTPサーバー : \*.ocn.ne.jp (ユーザー任意の文字列またはプロバイダ指定の文字列)

POP3サーバー : \*.ocn.ne.jp (ユーザー任意の文字列またはプロバイダ指定の文字列)

### 注意

この設定例は、メールサーバーがメールの送受信を請け負っていることが前提となっています。SMTPサーバー、POP3サーバーに IPアドレスを入力するときは、プライマリDNSサーバー、セカンダリDNSサーバーに 0.0.0.0 を入力します。

## 10-4 モバイルルーター環境



モバイルルーターを使ったインターネット環境での設定例です。

モバイルデータ通信カードは FOMA や PHS など各種の CFカードタイプが一般的です。

### モバイルルーターの設定

IPアドレス : 192.168.1.1

### れんら君

IPアドレス : 192.168.1.20

サブネットマスク : 255.255.255.0

デフォルトゲートウェイ : 192.168.1.1 (モバイルルーターの IPアドレス)

プライマリDNSアドレス : 192.168.1.1 (モバイルルーターの IPアドレス)

セカンダリDNSアドレス : 192.168.1.1 (モバイルルーターの IPアドレス)

SMTPサーバー : \*.ocn.ne.jp (プロバイダ指定の文字列)

POP3サーバー : \*.ocn.ne.jp (プロバイダ指定の文字列)

### 注意

この設定例は、モバイルルーターがメールの送受信を請け負っていることが前提となっています。モバイルルーターが Webブラウザしか対応していないとき、または、ブロードバンドルーターとして用いているときは、れんら君の設定を一般的な環境での設定例を参考に行ってください。

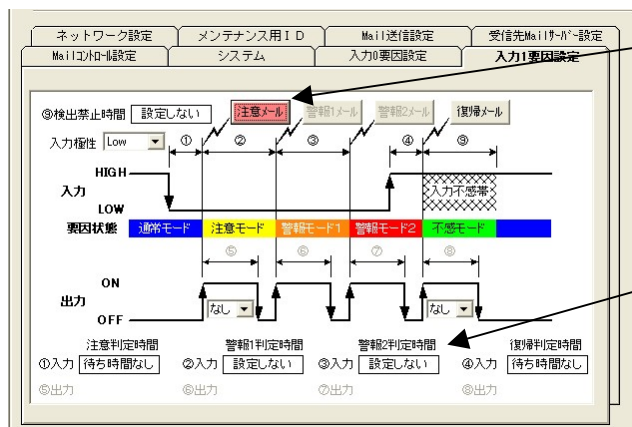
## 11 れんら君に登録するメールを作成します

[1] れんら君設定ソフトを起動します。

[2] 「れんら君の一覧」ボタンをクリックして接続されているれんら君を検出します。

検出されたれんら君の一覧からメール登録をしたいれんら君を選択（クリック）します。

出てきた設定情報画面の中から入力要因のタブをクリックします。



登録したい要因のボタンをクリックします。すると、ボタンがピンク色になり、メール登録が可能になります。

判定時間を「設定しない」にしていると、その要因はメール登録できません。

メール登録が可能になると、メール作成ができるようになります。



新規メールボタンをクリックし、メールを作成してください。

### ⚠ 注意

メール登録における制限事項

れんら君に登録するメールには制限事項があります。

#### 1. 一通あたりのメールサイズ

れんら君に登録できるメールのサイズは一通当たり最大 64KB です。添付ファイルを登録することができますがメールサイズには気をつけてください。メールに添付されるファイルは、登録時およそ 1.3 倍になります。

#### 2. 合計のメール容量

登録メールの合計容量は 320KB です。これを越えて設定したとき、「れんら君の書込み」ボタンを押すと、エラーが出ます。メール容量を抑えてメールの再登録をしてください。

#### 3. メール登録件数

UNC-RP05 の場合、「注意」「警報 1」「警報 2」「復帰」の 4 要因

UNCM-RP11 の場合、「注意」「警報」「復帰」の 3 要因があります。

それぞれの要因毎に 6 件までメール登録できます。

#### 4. メール形式

れんら君設定ソフトは、テキスト形式で本文を作成します。html 形式、ハイパーテキストには対応していません。

## 11-1 メール作成

新規メールボタンをクリックすると、メール作成画面が表示されます。メールを作成してください。

「送信者」ボタン、「宛先」ボタン、「CC」ボタン、「BCC」ボタンをクリックすると「受信者の選択」画面を表示します。

件名を入力してください。

本文を入力してください。

添付ボタンを押せば添付ファイルを登録することができます。登録された添付ファイルはダブルクリックすると開けることができます。

一通のメールの最大容量は 64KB です。64KB を 100% とした場合のメールの大きさを示します。添付ファイルはメール登録すると、およそ 1.3 倍の大きさになります。容量に気をつけてください。

「登録ボタン」をクリックすれば登録されます。登録しないときは「キャンセル」ボタンをクリックしてください。

このメールをパソコンから送信します。正常に送れるかのテストになります。

メッセージの送信者と宛先、必要に応じて CC や BCC を選択して、「OK」ボタンをクリックします。

新しいメールアドレスを登録するには新しい連絡先をクリックしてください。

「表示名」欄に連絡先の名前、「メールアドレス」欄にメールアドレスを入力し「OK」ボタンをクリックしてください。

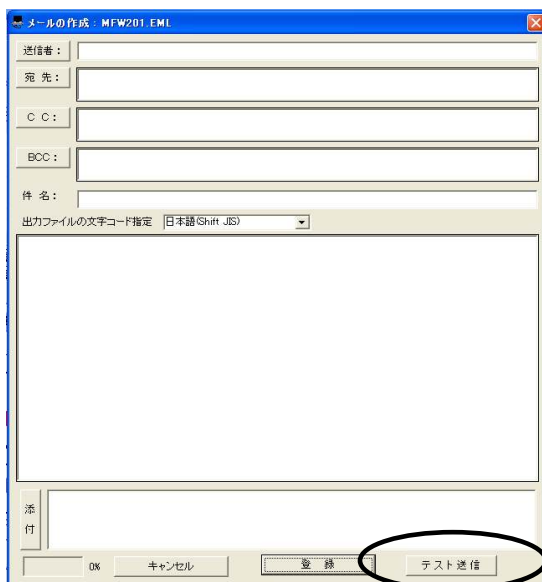
## 11-2 メールテスト送信

パソコンからメールを送信し、正しく送信できるかの確認を行います。  
画面に表示されているメールを実際に送りますので、ご注意ください。

メールのテスト送信機能はフリーの d11ファイル"BSMTP. d11"を使用して実行されています。  
"BSMTP. d11"の作者様の HP → <http://www.hi-ho.ne.jp/babaq/index.html>  
2012年7月20日現在

また、以下の条件を満たすパソコンから行って下さい。

1. 設定終了後にれんら君が接続する予定のネットワーク上に接続されているパソコンであること。
2. DNSサーバーを使用する場合、れんら君に設定されたDNSサーバーとパソコンに設定されているDNSサーバーが同じであること。同様に、デフォルトゲートウェイのアドレスが等しいこと。



メール作成画面の右下にある「テスト送信」ボタンを押すと、「詳細表示」画面の「Mail 送信設定」項目に設定されている情報に従って、パソコンからこのメールを送信します。

メールをテスト送信する前に、「Mail 送信設定」項目の設定を行って下さい。

### ⚠ 注意

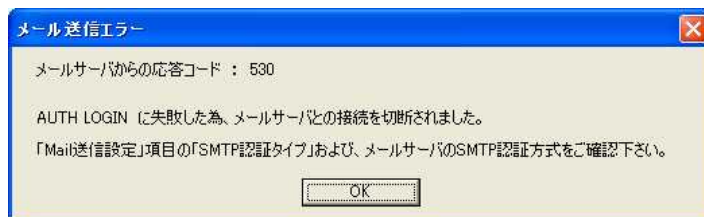
この「テストメール送信」機能は、「ネットワーク接続」項目の設定値は参照しません。IPアドレスやDNSサーバーアドレス、デフォルトゲートウェイのアドレス等は、パソコンに設定されているアドレスを使用しています。

こちらからメールをテスト送信します。

「テスト送信」を実行後、「Mail 送信設定」項目で設定された情報をもとに、パソコンから自動的にメールサーバーと接続し、メール送信完了後に「テスト送信」を終了します。  
宛先入力のはみ角 400 文字以下（合計で）にしてください。

メール送信時、何らかの原因で送信エラーが発生した場合、次のようなエラーメッセージが表示されます。

(例) 認証方式が異なるときに出現するエラーメッセージです。



メール送信に失敗した場合でも、メールサーバーに接続できれば応答コードが返ってきます。  
 応答コードは、メール送信に失敗した原因を数字で表したものです。  
 応答コードおよびエラー内容の詳細について、以下に記載します。

### 11-2-1 メールサーバーから切断されたときのエラーメッセージ

メールのテスト送信時にメールサーバーから切断されたときの、原因とその対処方法の例を以下に記載します。

応答コード	切断された原因	対処例
502	<p>メールサーバーがサポートしていないコマンドを送った際に発生します。</p> <p>【例】SMTP 認証をサポートしていないメールサーバーに、SMTP 認証で接続した場合など</p>	<p>メールサーバーの設定を確認し、本設定ソフトの「Mail 送信設定」の訂正を行って下さい。</p>
504	<p>メールサーバーがサポートしていないパラメータを持ったコマンドを送った際に発生します。</p> <p>【例】SMTP 認証方式の” LOGIN” 方式をメールサーバーがサポートしていない場合など</p>	<p>メールサーバーの設定（拡張 SMTP もしくは ESMTP の設定）を確認し、” LOGIN” 方式を有効にして下さい。</p>
530	<p>メールサーバーと接続するには、SMTP 認証が必要です。</p> <p>【例】「Mail 送信設定」項目の「SMTP 認証タイプ」を「SMTP AUTH」以外に設定してメールサーバーへ接続した場合など</p>	<p>メールサーバーに接続するには SMTP 認証が必要です。「Mail 送信設定」の「SMTP 認証タイプ」を「SMTP AUTH」に設定して下さい。</p>
535	<p>メールサーバーへのログインに失敗しました。</p> <p>「Mail 送信設定」項目の「SMTPアカウント」および「SMTPパスワード」が不正な場合などで発生します。</p> <p>【例】メールサーバーに登録されていない SMTP アカウントでメールサーバーと接続しようとした場合など</p>	<p>メールサーバーに登録されているアカウント（およびパスワード）と本設定ソフトの「Mail 送信設定」項目の「SMTPアカウント」（および「SMTPパスワード」）をご確認下さい。</p>

応答コード	エラーの内容	対処例
550	宛先のメールアドレスが利用不可、または指定したアドレス（ドメイン）のメールサーバーが見つからないなどの理由でメールが送信できなかった場合に発生します。  【例】DNSサーバーのアドレスが不正な為、メールサーバーが見つからない（ドメイン名の名前解決ができない）場合など  ▲ 注意 この「テストメール送信」機能は、「ネットワーク接続」項目の設定値は参照しません。デフォルトゲートウェイのアドレスや DNSサーバーアドレス等は、パソコンに設定されているアドレスを使用しています。パソコンとれんら君のデフォルトゲートウェイのアドレス、DNSサーバーアドレスが異なる場合、このエラーが発生する可能性があります。	宛先のメールアドレスは正しいか、またはDNSサーバーを使用する場合、SMTPサーバーのドメイン名の名前解決がなされているかをご確認下さい。
553	宛先のメールアドレスが不適切な為、メールが送信できない場合に発生します。	宛先のメールアドレスをご確認下さい。

### 11-2-2 メールサーバーと接続できないときのエラーメッセージ

メールサーバーが見つからない、接続できない場合、以下のようなメッセージが表示されます。



「Mail 送信設定」項目で設定された SMTPサーバーアカウント（ドメイン名）のメールサーバーがネットワーク上に存在しない、またはパソコンがネットワークに接続されていない等の原因が考えられます。  
「ネットワーク設定」項目および、「Mail 送信設定」項目をご確認ください。

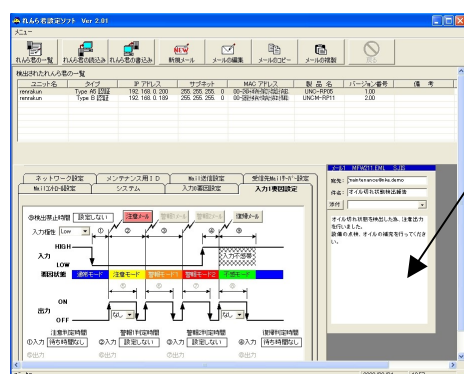
## 11-2 登録したメールの編集

登録したメールは編集、同じメールのコピー、複製が行えます。



新規メール：メールを新規作成できます。登録しようとする入力要因が合計5件までであればクリックしたとき新規作成メール画面が開きます。すでに6件登録していれば、ボタンは白黒表示になり、クリックしても何も起こりません。

メールの編集：登録したメールを編集することができます。



注意、警報、復帰の各入力要因ボタンをクリックした時、メールが登録されていれば、メールビュー画面が開きます。登録メールが複数あれば、一番手前にあるメールが編集対象になります。「メールの編集」ボタン、もしくは一番手前にあるメールをダブルクリックすれば、メール編集画面が開きます。複数登録されている場合、編集したいメールをクリックすると、ビュー画面の一番手前に移動します。

メールのコピー：選択したメールをクリップボードに貼り付けます。貼り付けられたメールは最新のコピーされたメールです。

メールの複製：クリップボードに貼り付けられたメールを読み出し、メールの複製を貼り付けます。



## メールの編集

メールレビュー画面の一番手前にあるメールを編集することができます。

「メールの編集」ボタンまたは、メールレビュー画面の一番手前にあるメールをダブルクリックするとメール編集画面が開きます。

The screenshot shows the 'メールの作成: MFW211.EML' window. It contains the following fields and elements:

- 送信者:** <"オイルレベル監視!" renrakun@nke.demo > (Sender's email address)
- 宛先:** <"設備メンテナンス担当者" maintenance@nke.demo > (Recipient's email address)
- C C:** (Carbon copy field)
- BCC:** (Blind carbon copy field)
- 件名:** オイル切れ状態検出報告 (Subject)
- 出力ファイルの文字コード指定:** 日本語(Shift JIS) (Character encoding dropdown menu)
- メールの本文:** オイル切れ状態を検出した為、注意出力を行いました。  
設備の点検、オイルの補充を行ってください。(Main body text)
- 添付ファイル一覧:** 添付 (Attachment icon), 設備の詳細地図.jpeg (Attachment list)
- Progress bar:** 97% (Progress indicator)
- Buttons:** キャンセル (Cancel), 登録 (Register)

Annotations on the right side of the image point to these specific elements:

- 送信者のメールアドレス (Sender's email address)
- 受信者のメールアドレス (Recipient's email address)
- メールの件名 (Subject)
- 文字コード (Character code)
- メールの文字コードを選択できます。デフォルトは「Shift JIS」です。(You can select the character code of the email. The default is "Shift JIS".)
- メールの本文 (Main body text)
- 添付ファイル一覧 (Attachment list)

編集中のメールサイズと一通のメールに登録可能なメールサイズを割った比率を表示します。

一通のメールサイズの最大容量は 64KB です。64KB を 100%とした場合のメールの大きさを示します。

添付ファイルはメール登録すると、およそ 1.3 倍の大きさになります。容量に気をつけてください。

「送信者」、「宛先」、「CC」、「BCC」：  
いずれかのタブをクリックすれば「受信者の選択」画面が開きます。

名前	メールアドレス
オイルレベル監視!	renrakun@nke.dem...
設備メンテナンス担	maintenance@nke.d...

- ・ 受信者の選択をして「送信者」、「宛先」、「CC」、「BCC」のいずれかをクリックすればメールアドレスが追加されます。
- ・ 送信者については、上書きされます。
- ・ 「宛先」、「CC」、「BCC」で削除したいメールアドレスがある場合は、選択後にパソコンの「Delete」キーを押してください。
- ・ 受信者のメールアドレスの登録は「宛先」、「CC」、「BCC」併せて100件を上限に設定してください。100件以上の登録がありますと、メールソフトによってはスパムメールとみなして、メールを送信できないことがあります。
- ・ メールアドレスは直接「送信者」、「宛先」、「CC」、「BCC」欄に入力することができます。「宛先」、「CC」、「BCC」に複数のメールアドレスを直接入力される場合はメールアドレスとメールアドレスの間に「;」半角のセミコロンで区切ってください。

メールアドレスを追加されるときは「新しい連絡先」をクリックしてください。

新しい連絡先

アドレス帳 |

表示名

メールアドレス

キャンセル OK

「表示名」欄に連絡先の名前、「メールアドレス」欄にメールアドレスを入力し「OK」ボタンをクリックしてください。  
なお、表示名では「”」「<」「>」は禁止文字になっています。

## 出力ファイルの文字コード指定

メールの文字コードを指定することができます。デフォルトは「Shift JIS」です。他の文字コードを選択してメールを作成、編集するとその時選んだ文字コードがデフォルトになります。本設定ソフトで対応している文字コードは次のとおりです。

日本語 (Shift JIS)	Unicode (UTF-7)
日本語 (ISO-2022-JP)	Unicode (UTF-8)
日本語 (EUC-JP)	

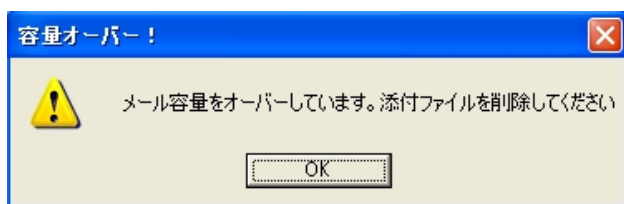
## ファイルを添付する

メールに添付ファイルを付ける事ができます。

「添付」ボタンをクリックして、添付ファイルを選択してください。

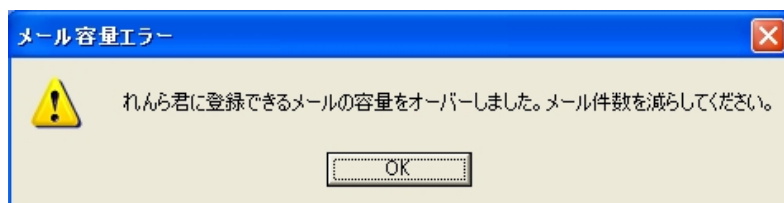
ただし、一通のメールの最大容量は 64KB です。添付ファイルはメール登録すると、およそ 1.3 倍の大きさになります。容量に気をつけてください。

添付ファイルの大きさが 64KB 以上のときは次のような画面が表示されます。



このときは添付ファイルを削除してください。

登録メールの総容量は約 320KB までです。これを越えてメールを登録し、「れんら君の書込み」ボタンをクリックしてれんら君に登録しようとするとき次のような画面が表示されます。



メール件数を減らすことや、添付ファイルの容量削減や削除、メール本文を短くする等、総容量を小さくしてください。

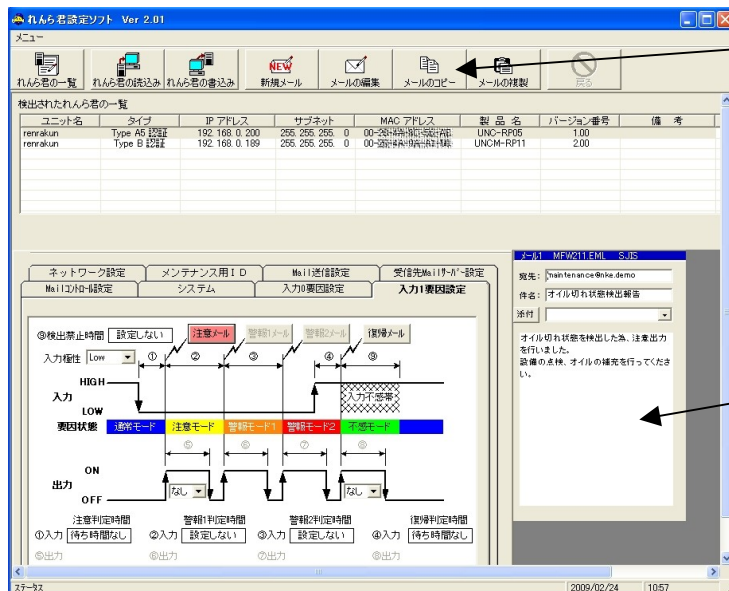
添付ファイルはダブルクリックをすると開くことができます。また、選択してパソコンの「Delete」キーを押すと削除できます。



メールの編集が終われば「登録」ボタンをクリックしてください。メールが設定ソフトに登録されます。

### 11-3 メールのコピー

選択したメールをクリップボードに貼り付けます。貼り付けられたメールは最新のコピーされたメールです。「注意」「警報」「復帰」の入力要因に登録されているメールのいずれかを選択します。下図では、入力1要因設定の注意メールに登録されているメールを選択しています。

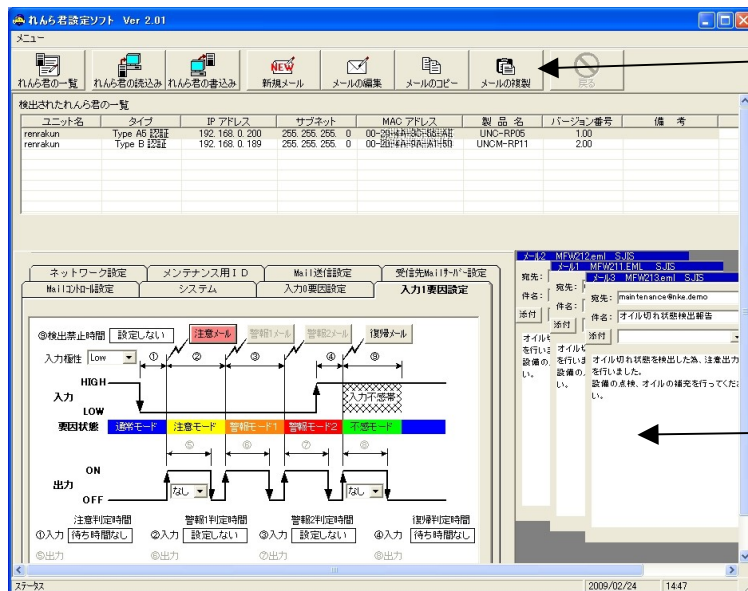


「メールのコピー」ボタンをクリックするとクリップボードにメールがコピーされます。

一番手前にあるメールがコピー対象のメールになります。

### 11-4メールの複製

クリップボードに貼り付けられたメールを読み出し、メールの複製を貼り付けます。



「メールの複製」ボタンをクリックするとクリップボードに貼り付けられていたメールの複製が作成されます。

メールの複製が作成、登録されます。「メールの作成」ボタンをクリックした時メール一覧の一番手前に新規作成されたメールが表示されます。

メールはコピーされたメールの完全なコピーです。「メールの編集」で編集後再登録してください。

11-5 メール管理形態

れんら君設定ソフトで作成、登録されるメールは設定ソフト内でメール番号をつけて管理されています。  
れんら君 UNC-RP05 と UNCM-RP11 での管理メール番号の付け方は基本的に同様になります。

メール番号管理表

UNC-RP05 (TypeA5)

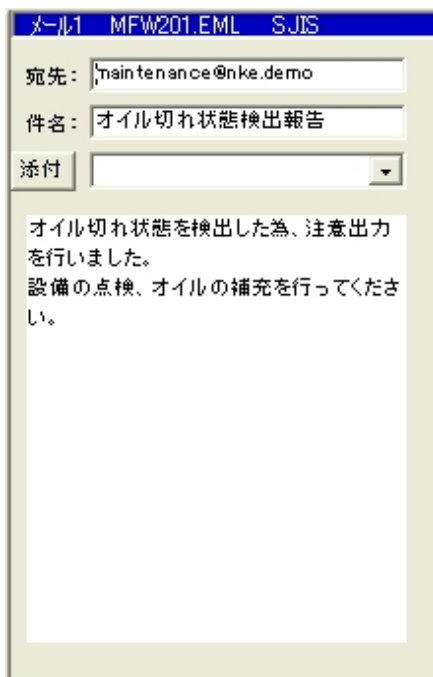
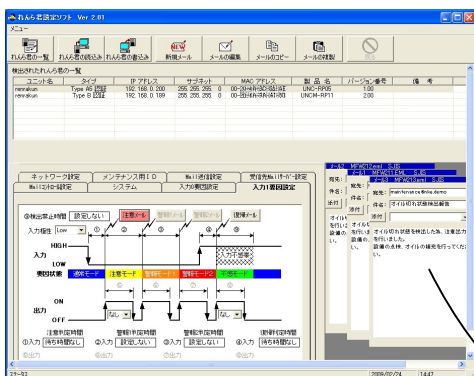
	入力 0 要因設定メール	入力 1 要因設定メール
注意	MFW201.EML - MFW206.EML	MFW211.EML - MFW216.EML
警報 1	MFW701.EML - MFW706.EML	MFW711.EML - MFW716.EML
警報 2	MFW801.EML - MFW806.EML	MFW811.EML - MFW816.EML
復帰	MFW101.EML - MFW106.EML	MFW111.EML - MFW816.EML

UNCM-RP11 (TypeB)

	入力 0 要因設定メール	入力 1 要因設定メール
注意	MFW201.EML - MFW206.EML	MFW211.EML - MFW216.EML
警報	MFW701.EML - MFW706.EML	MFW711.EML - MFW716.EML
復帰	MFW101.EML - MFW106.EML	MFW111.EML - MFW816.EML

	入力 n 要因設定メール (n=2-7)
注意	MFW2n1.EML - MFW2n6.EML
警報	MFW7n1.EML - MFW7n6.EML
復帰	MFW1n1.EML - MFW1n6.EML

MFW201.EML なので  
入力 1 要因の注意メールの最初に登録されたメール  
このメールの文字コードは「SJIS」なので「Shift JIS」



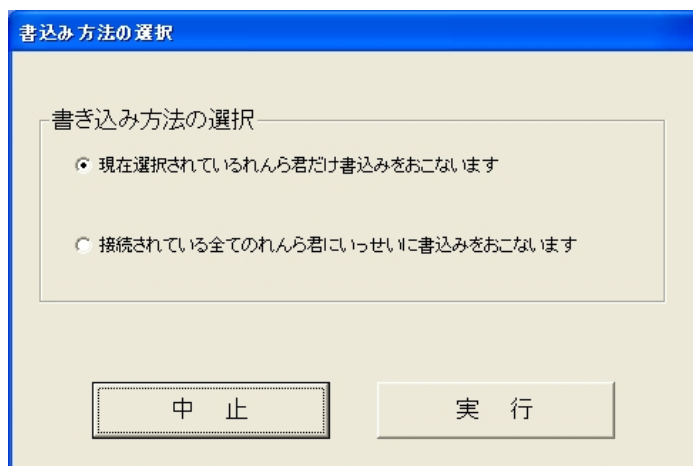
メールのプレビューには、文字コードも表示されます。  
それぞれ次のようになります。

Shift JIS : SJIS            UTF-7 : UTF7  
ISO-2022-JP : JIS        UTF-8 : UTF8  
EUC-JP : EUC

## 11-6 設定をれんら君に保存

設定が終われば、「れんら君の書込み」をクリックしてください。設定とメールの書込みを行います。れんら君にメールが転送され、れんら君にメールの登録が完了します。

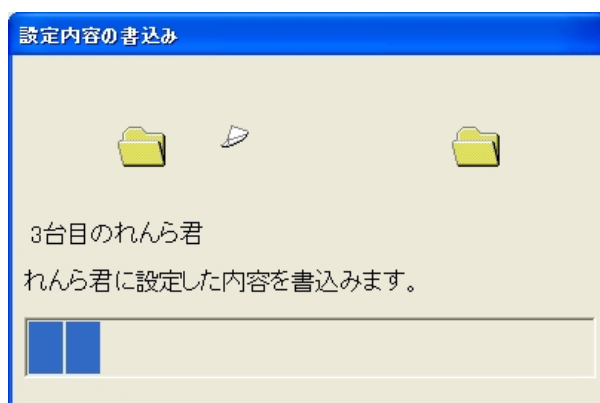
「れんら君の書込み」をクリックしますと次のような画面が表示されます。



### 書込み方法の選択

- 現在選択されているれんら君だけ書込みをおこないます  
「検出されたれんら君の一覧」の中から選択している一台のれんら君の設定とメールを書き込みます。
- 接続されている全てのれんら君に同時に書込みを行います  
「検出されたれんら君の一覧」に表示されているれんら君全てに書込みを行います。このときは、一台ずつ書込みに行きますので、れんら君の数が多いと少々時間がかかります。

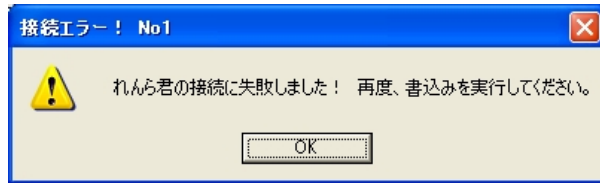
どちらかを選択後、「実行」ボタンをクリックすると



れんら君へ設定とメールの書込みが始まります。設定の書込みを行う為れんら君は自動的に再起動し、設定モードに移行します。書込みが完了すると、「設定内容の書込み」表示は自動的に閉じます。

以上で、れんら君の設定は完了しました。動作を確認の上、れんら君をご使用ください。

書込みに失敗したとき、次のような表示がされることがあります。



LAN の配線、ネットワークの通信データ量の、混み具合ファイアウォールの通信遮断などが原因で起こります。

周辺状況の確認、設定ソフトを起動しているパソコンの確認を行ってください。

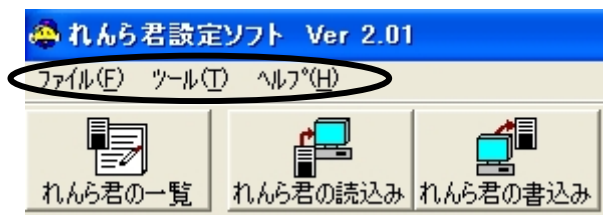
## 11-7 れんら君から設定を読み出しする

### 設定の読み込み

- [1] 「検出されたれんら君の一覧」 から設定を読み出したいれんら君を選びクリックします
- [2] 「れんら君の読み込み」 をクリックして下さい
- [3] 選択したれんら君から設定を読み込み、設定値を設定ソフトに表示します。  
設定内容の詳細を確認の上、修正があれば設定値を変更して、設定をれんら君に書込み  
んでください。



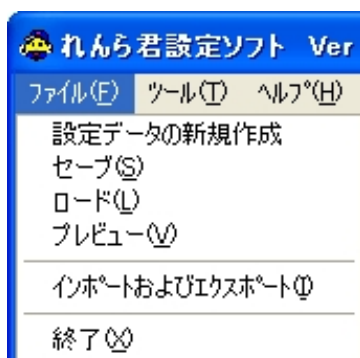
## 12 メニューの構成と機能



メニューではれんら君の設定値を保存や読み出し、れんら君認証用パスワードの設定やれんら君のステータス情報、本設定ソフトのバージョン情報の確認などが行えます。

### 12-1 ファイルメニュー

れんら君の設定値のセーブや保存データの参照のメニューです。



### 12-2 設定データの新規作成 (設定ソフトver2.5.5から追加された機能)

れんら君とパソコンを接続しないで設定データを作成したい場合に選びます。



設定データを作成するれんら君の機種を選択します。

#### ⚠ 注意

ここで選択した機種は、後から変更することは出来ません。

決定ボタンを押すと、「検出されたれんら君の一覧」にれんら君が追加され、選択した機種の設定画面が表示されます。

れんら君から読み込みを行ったデータではない為、MACアドレス、バージョン情報は未定となり、“\*”が表示されます。“\*”になっていても、「セーブ」や「ロード」は通常と同じように実行できます。

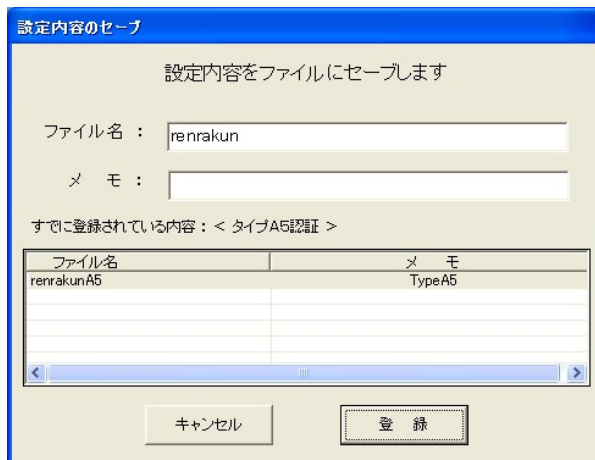


DNS IP	MAC アドレス	製品名	バージョン番号	備考
0.0	**-*-*-**-*-*-**	UNCM-RP11	***	新規作成中

新規作成した設定データは「セーブ」で保存します。「ロード」を行うことで新規作成した設定データを読み込み、使用できます。

### 12-3 セーブ

対象のれんら君の設定値をれんら君設定ソフトにセーブします。



設定内容のセーブ

設定内容をファイルにセーブします

ファイル名 : renrakun

メモ :

すでに登録されている内容 : < タイプA5認証 >

ファイル名	メモ
renrakunA5	TypeA5

キャンセル 登録

ファイル名：設定ファイルに名前をつけます。

メモ：備考欄として扱ってください。

登録：設定値をセーブします。

キャンセル：設定値のセーブをキャンセルします。

## 12-4 ロード

れんら君設定ソフトにセーブされているれんら君の設定値を、選択されているれんら君に反映させます。

ファイル名：登録されているファイル名です

メモ：登録されているメモです。

れんら君の機種：選択した機種のみ、設定ファイルを表示します。

読み込み：設定値を読み込みます。

キャンセル：設定値の読み込みをキャンセルします。

削除：設定ソフトに登録、保存されている設定内容を削除します。

編集（一覧に追加）：セーブされた設定ファイルの設定値を画面に表示し、編集できます。（設定ソフトver2.5.5から追加された機能）

「編集（一覧に追加）」を実行すると、選択した設定ファイルを読み込み、れんら君の一覧画面に追加されます。



ファイル名	メモ	作成日
タイプA5設定データ1	1台目の設定データ	2011/03/31 11:50
タイプB設定データ2	2台目の設定データ	2011/03/31 11:51
タイプA5設定データ1	3台目の設定データ	2011/03/31 13:10

「編集（一覧に追加）」実行でれんら君の一覧画面に追加

表示された設定データは、設定値の変更は可能ですが「れんら君の読み込み」および「れんら君の書き込み」はできません。設定値を変更後は「セーブ」で保存して下さい。

インポートしたデータも登録されます。設定が少しだけ違うれんら君をたくさん設定するときにロード機能を使うと便利です。

## 12-4 プレビュー

れんら君設定ソフトにセーブされているれんら君の設定値を閲覧します。

設定内容のプレビュー

プレビューしたいファイルを選択してください。  
選択が終了しましたら決定ボタンを押してください。

れんら君のタイプ	ファイル名	メモ	
<u>タイプA5認証</u>	renrakunA5	TypeA5	

すべて選択 決定 戻る

表の中から設定値を参照したいれんら君を選択してください。  
「決定」をクリックすると下図のような画面に移ります。

プレビュー選択画面から元の画面に戻るには「戻る」ボタンをクリックしてください。

プレビュー

ファイル名 renrakunA5  
メモ TypeA5  
ユニット名 renrakun  
タイプ Type A5 認証  
製品名 JNC-RP05  
バージョン番号 1.00

Mailコントロール設定	システム	入力0要因設定	入力1要因設定
<b>ネットワーク設定</b>	メンテナンス用 I D	Mail送信設定	受信先Mailサーバ設定
IP アドレス	192	168	0 200
サブネット マスク	255	255	255 0
デフォルト ゲートウェイ	0	0	0 0
プライマリ DNS サーバー IP	0	0	0 0
セカンダリ DNS サーバー IP	0	0	0 0

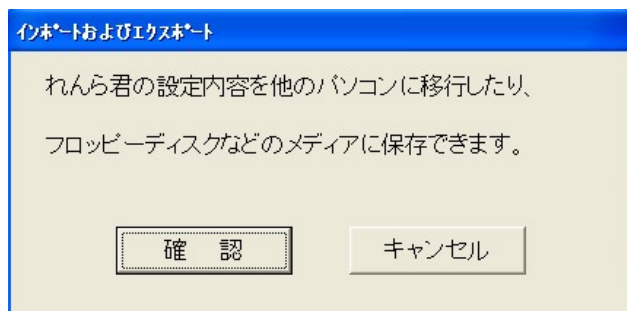
れんら君の設定値が閲覧できます。  
タブをクリックすればそれぞれの設定タブに切り替わります。

プレビューからプレビュー選択画面に戻るには、設定ソフト右上にある「戻る」ボタンをクリックしてください。

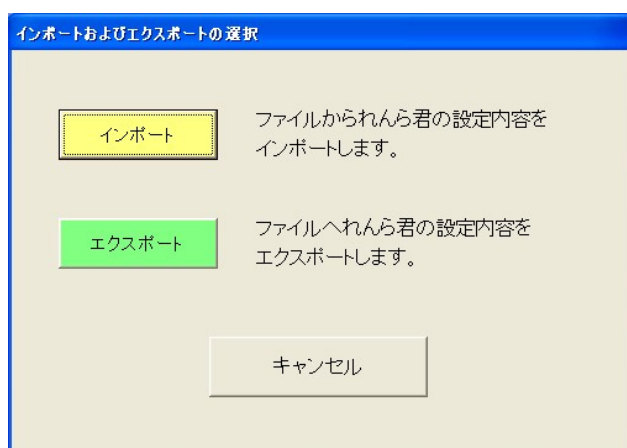
#### 12-5 インポートおよびエクスポート

- インポート：選択したれんら君の設定ファイルをれんら君設定ソフトにセーブします。
- エクスポート：選択したれんら君の設定値をれんら君設定ソフトからエクスポートします。

ファイルメニューバーから「インポートおよびエクスポート」を選択しますと確認画面が出てきます。

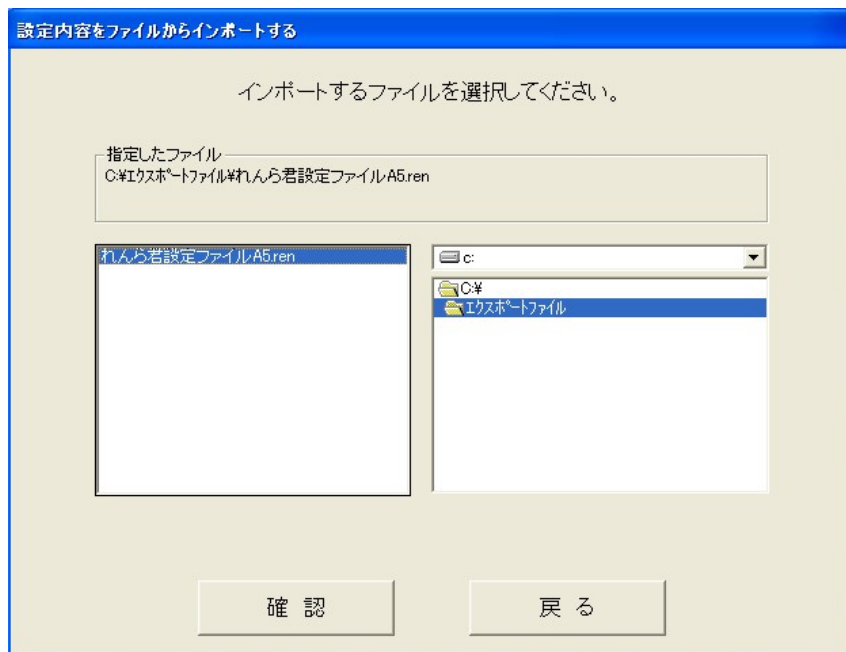


「確認」をクリックしますとインポートおよびエクスポートの選択画面が出てきます。



### 12-5-1 インポート

選択したれんら君の設定ファイルをれんら君設定ソフトにセーブします。



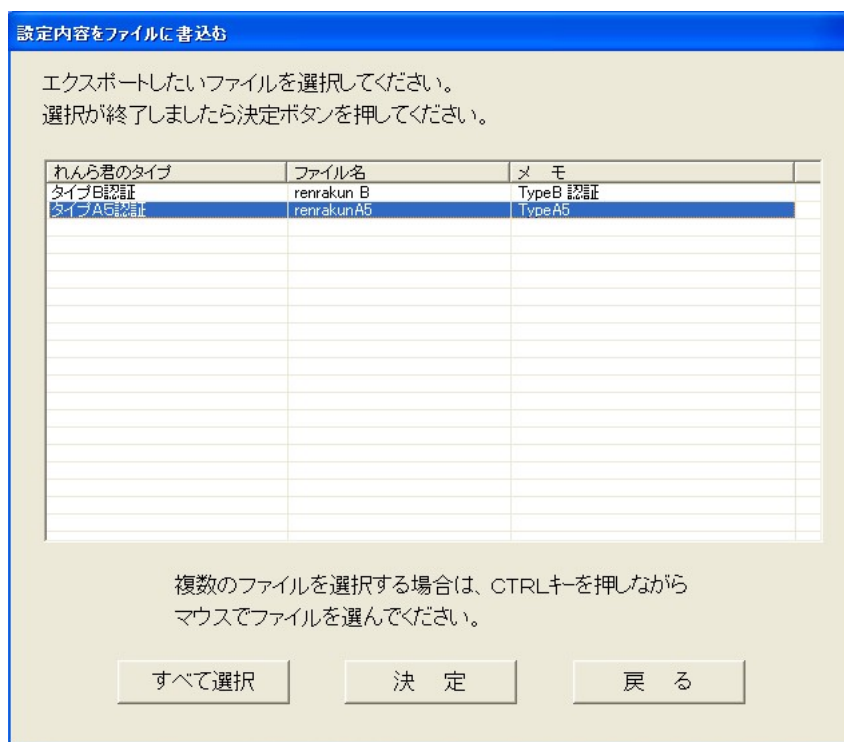
れんら君設定ソフトからエクスポートしたファイルをインポートすることができます。  
インポートしたいファイルを選択、指定してください。  
インポートできるファイルは拡張子が「ren」となっています。

「確認」ボタンをクリックしますと、設定ファイルがれんら君設定ソフトにセーブされます。

インポートされたデータは、設定ソフトのロード機能で呼び出すことができます。

## 12-5-2 エクスポート

選択したれんら君の設定値をれんら君設定ソフトからエクスポートします。



れんら君設定ソフトにセーブされている設定値をエクスポートします。エクスポートしたいファイルを選択、指定してください。複数のれんら君を選択しますと、まとめてひとつのファイルとしてエクスポートします。

「決定」ボタンをクリックしますと「エクスポートの実行」ダイアログボックスが出てきますので「OK」をクリックします。

ファイルを保存する場所およびファイル名を設定して「保存」ボタンをクリックしてください。  
れんら君の設定値がエクスポートされます。

## 12-6 終了

れんら君設定ソフトを終了します。

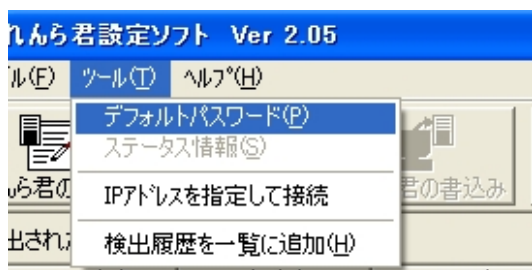
## 12-7 ツールメニュー

れんら君認証用のパスワードを設定します。設定ソフトがれんら君に接続する為には、認証用のパスワードが必要になります。また、れんら君のステータス情報の確認やれんら君に設定データを書き込んだときの履歴確認が出来ます。

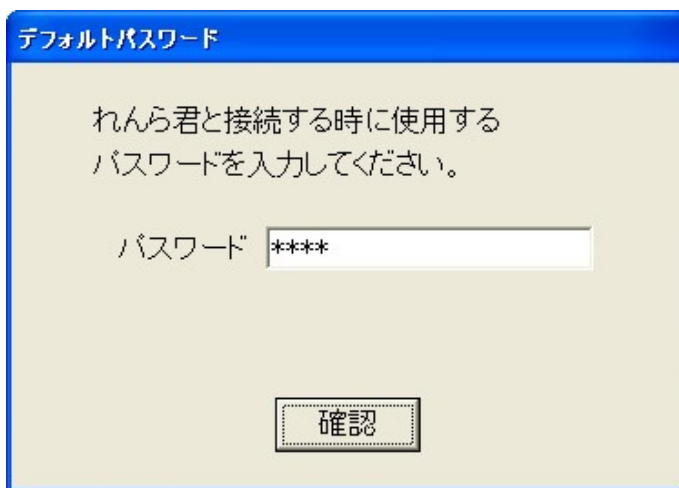
### 12-7-1 デフォルトパスワード

れんら君は認証用パスワードとしてデフォルトで「root」が設定されています。複数のれんら君を設定するとき、新しいれんら君に接続するたびに認証用パスワードを入力する必要があります。設定ソフトは、れんら君に接続するときデフォルトパスワードで自動的に接続していく為、複数のれんら君の設定変更をするとき、何度も認証用パスワードを打ち込む手間を省く為にここで、設定します。（デフォルトパスワードを変更する必要があるが無ければ、ここでパスワードの設定変更をする必要はありません）。

メニューバーの「ツール」→「デフォルトパスワード」とたどります。



すると、次のようなダイアログボックスが現れます。



デフォルト設定は「root」です。

変更される場合は、「\*\*\*\*」を消して、新しいパスワードを打ち込んでください。

そして、確認ボタンをクリックしますと設定が反映されます。



## 12-7-2 ステータス情報

れんら君の状態と入力接点の ON/OFF を問い合わせます。

「検出されたれんら君の一覧」から状態を確認するれんら君を選択後にメニューのヘルプ → ステータス情報 をクリックで実行します。

UNC-RP05 の場合

れんら君の現在の状況

IPアドレス:	192.168.0.200
ユニット名:	renrakun
装置:	動作中
入力監視:	要因監視中
通知メール:	正常動作中
コマンドメール:	正常動作中
入力0:	OFF
入力1:	OFF
状態0:	通常
状態1:	通常
出力:	OFF

ステータス情報取得      終了

IPアドレス：れんら君の IPアドレスです。

ユニット名：れんら君に設定されたユニット名です。

装置：[動作中][設定中][装置異常]  
れんら君の状態を表示します。

入力監視：[要因監視中][要因監視停止][異常]  
入力の監視動作の状態を表示します。

通知メール：[正常動作中][送信リトライ中][送信異常]  
[受信リトライ中][受信異常]

メールによる通知機能の状態を表示します。  
れんら君が設定モードの時は「初期化中」と表示されます。設定モードとは、れんら君がパソコンからの設定を受信待機している状態のことです。

コマンドメール：[正常動作中][送信リトライ中][送信異常]  
[受信リトライ中][受信異常]

メールによる制御機能の状態を表示します。  
れんら君が設定モードの時は「初期化中」と表示されます。

入力 0～1：[ON][OFF]  
入力接点の状態を表示します。

出力 0：[ON][OFF]  
出力接点の状態を表示します。  
[強制]がついているときは、コマンドメールにより強制的にその状態になっています。解除するためには、コマンドメールの[FRESET]を送信するかユニットの電源を再投入する必要があります。

状態 0～1：[通常][注意][警報][不感]  
入力で遷移するモード状態を表示します。  
状態が注意→警報など遷移中の時は「???'と表示されます。

ステータス情報取得：ステータス情報を再取得します。

終了：ステータス画面を終了します。

## UNCM-RP11 の場合

IPアドレス：れんら君の IPアドレスです。

ユニット名：れんら君に設定されたユニット名です。

装置：[動作中][設定中][装置異常]  
れんら君の状態を表示します。

入力監視：[要因監視中][要因監視停止][異常]  
入力の監視動作の状態を表示します。

通知メール：[正常動作中][送信トライ中]  
メールによる通知機能の状態を表示します。  
れんら君が設定モードの時は「初期化中」と表示されます。設定モードとは、れんら君がパソコンからの設定を受信待機している状態のことです。

コマンドメール：[正常動作中][送信トライ中][送信異常]  
[受信トライ中][受信異常]  
メールによる制御機能の状態を表示します。  
れんら君が設定モードの時は「初期化中」と表示されます。

入力 0～1：[ON][OFF]  
入力接点の状態を表示します。

出力 0：[ON][OFF]  
出力接点の状態を表示します。  
[強制]がついているときは、コマンドメールにより強制的にその状態になっています。解除するためには、コマンドメールの[FRESET]を送信するかユニットの電源を再投入する必要があります。

状態 0～1：[通常][注意][警報][不感]  
入力で遷移するモード状態を表示します。  
状態が注意→警報など遷移中の時は「???'と表示されます。

ステータス情報取得：ステータス情報を再取得します。

終了：ステータス画面を終了します。

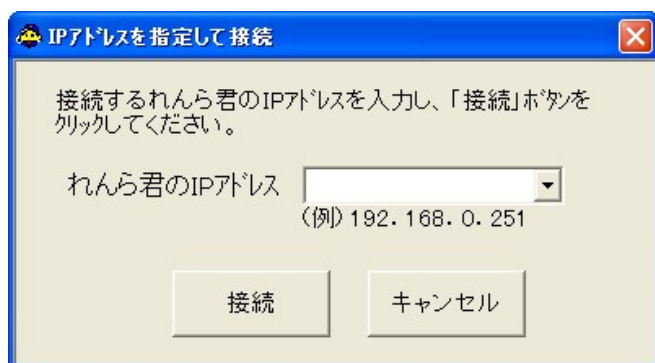
### 12-7-3 IPアドレスを指定して接続

ツールの「れんら君の一覧」はパソコンと接続されている全てのれんら君を検出しますが、こちらは1台のれんら君のみを検出します。  
接続されているれんら君の台数が多い場合などで、特定のれんら君のみ設定を変更したいとき、スムーズに行えます。

メニューバーの「ツール」→「IPアドレスを指定して接続」とたどります。



すると次のようなダイアログボックスが現れます。



「れんら君の IPアドレス」欄にパソコンと接続されているれんら君の IPアドレスを入力し、「接続」をクリックしますと、パソコンから目的の IPアドレスを持つれんら君の検出を開始します。

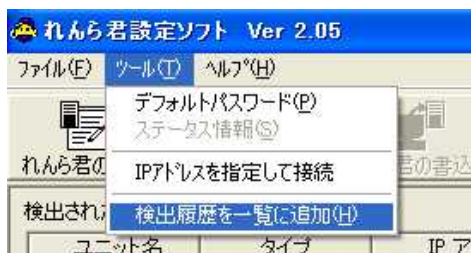


目的の IPアドレスを持つれんら君が見つかった場合、「れんら君の読込み」と同様にれんら君の設定情報を読込み、画面に表示します。

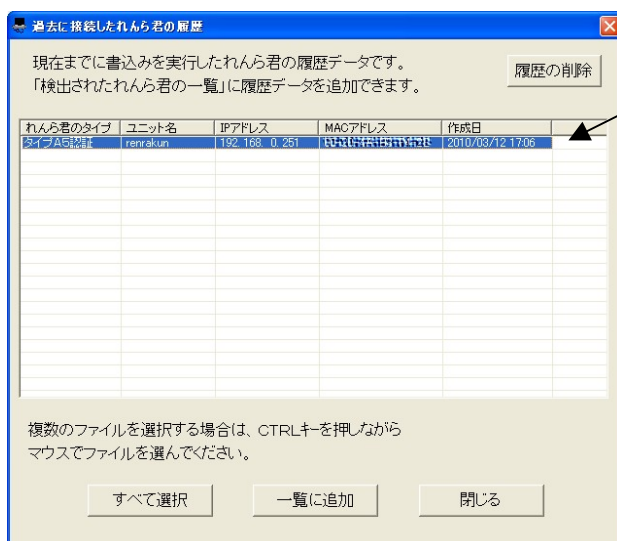
### 12-7-3 検出履歴 (設定ソフトver2.5.1 から追加された機能)

れんら君に設定データを書き込んだとき、れんら君設定ソフトにそのときのデータが保存されます。「12-3 セーブ」では、保存したいデータを自分で選択してれんら君設定ソフトに保存していましたが、検出履歴の機能は最新の履歴情報が自動保存されます。このとき、同時に設定データや設定メールが保存されます。

メニューバーの ツール → 検出履歴を一覧に追加 をクリックで実行します。



「検出履歴を一覧に追加」をクリックすると次のダイアログ画面が表示されます。



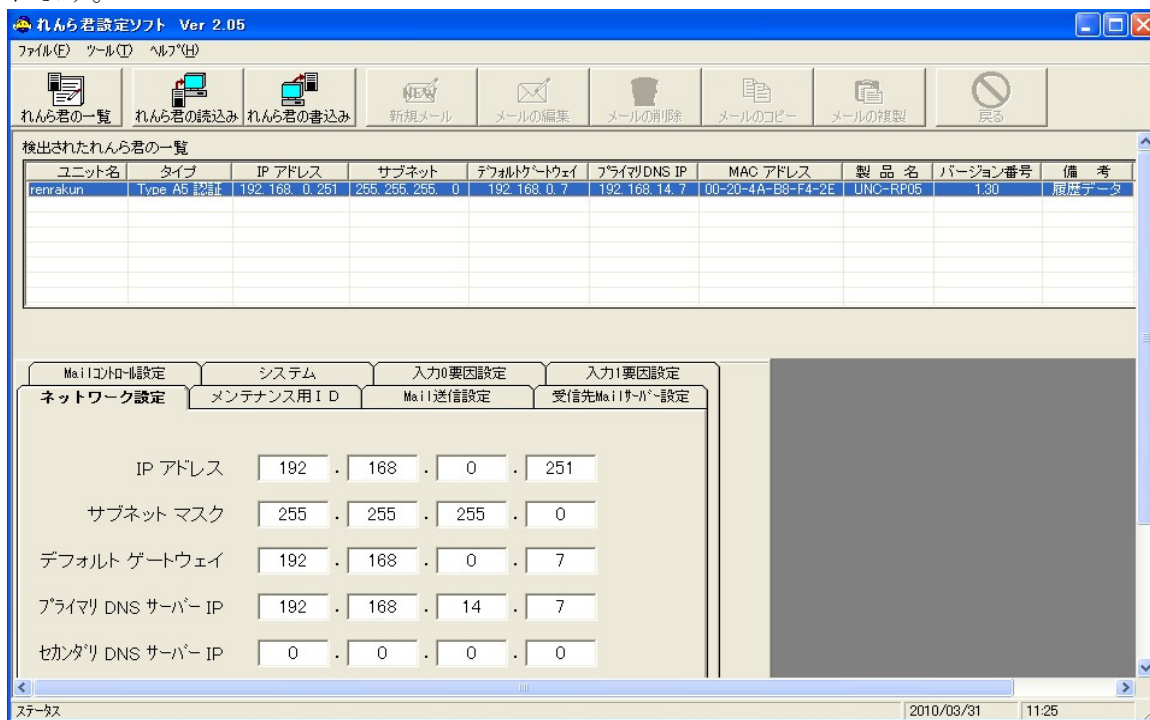
過去に書き込みを行ったれんら君の履歴がリストに表示されます。追加したい履歴データを選択してください。

「一覧に追加」ボタンをクリックすると、れんら君の一覧画面に履歴データが追加されます。



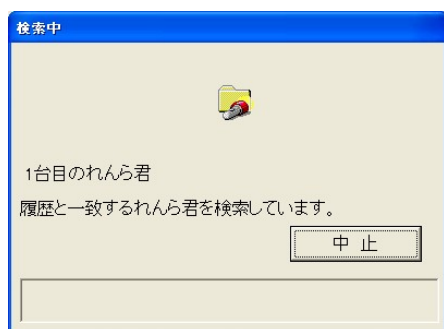
追加された履歴データです。

追加されたれんら君をクリックするとれんら君の設定データをロードしたときと同様の画面が表示されます。

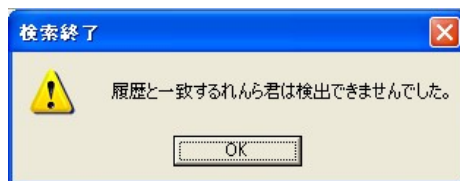


履歴データは「備考」欄に「履歴データ」と表示されます。

履歴データを変更して、「れんら君の書込み」をすることも可能です。  
履歴データを選択して「れんら君の書込み」を実行した場合、まず履歴データと一致するれんら君がパソコンと接続されているかの確認を行います。



履歴データと一致するれんら君が検出されると、通常通り設定情報の書込みを開始します。  
一致したれんら君が検出されなかった場合、次のメッセージが表示され、書込みを終了します。

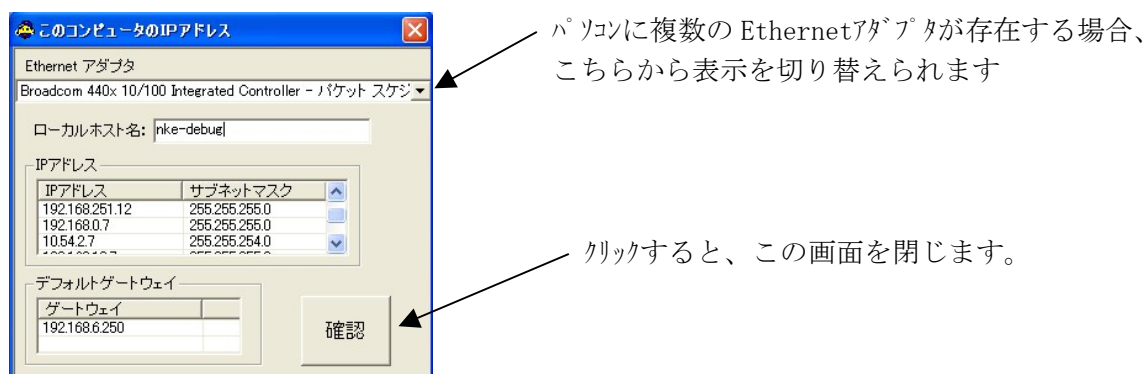


## 12-8 ヘルプメニュー

れんら君のステータス情報や、本設定ソフトのバージョン等を表示します。

### 12-8-1 コンピュータのIPアドレス

設定ソフトがインストールされているパソコンの「ローカルホスト名」および「IPアドレス」を表示します。れんら君設定ソフトver2.5.1よりパソコンのEthernetアダプタ情報とデフォルトゲートウェイ情報が表示されるようになりました。



### 12-8-2 ホームページ

パソコンに組み込まれているブラウザで、NKE社のホームページを表示します。

### 12-8-3 バージョン情報

本設定ソフトのバージョンを表示します。さらに、サポート用の電子メールアドレス、電話番号やシステム情報を表示します。

## 13 セキュリティ

ネットワークセキュリティとして、れんら君の設定を保存、読出の際に使用するパスワードと設定ソフトかられんら君への遠隔操作を制限する設定が行えます。

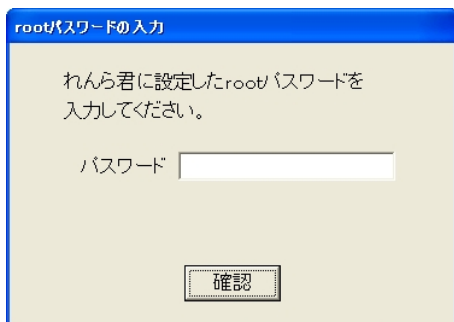
### 13-1 管理者権限認証

#### (1) 管理者権限認証について

設定ソフトから管理者権限を持つユーザーからの操作であることをれんら君に証明するためにRootパスワードの入力を行います。

#### (2) パスワード認証

「れんら君の読込み」、「れんら君の書込み」を実行するとれんら君に登録されたRootパスワード入力と設定ソフトに設定されたデフォルトパスワードが一致していればそのまま実行されます。一致していなければ、「検出されたれんら君の一覧」の該当するれんら君の備考欄に「パスワードが違います」と表示され、「rootパスワードの入力」画面が表示されます。



個別に設定されていた rootパスワードを入力してください。認証されれば、読み込みや書込みができます。間違いのときは、「検出されたれんら君の一覧」の該当するれんら君の備考欄に「パスワードが違います」と表示されます。

もしも、rootパスワードを忘れた場合は、れんら君を初期化した上、改めて設定を入力してください。れんら君の初期化方法は次のとおりになります。

#### [1] れんら君を工場出荷状態にする

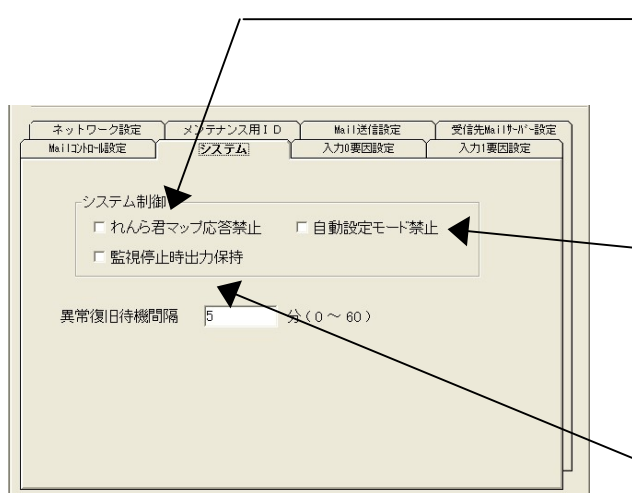
れんら君の設定を工場出荷状態に初期化する手順は以下の通りです。

- ① れんら君の電源を切ります。
- ② シャープペンシルの先などでれんら君の後背面にある穴の中の設定スイッチを押しながら、れんら君に電源を入れます。
- ③ 約 10 秒押しつづけければ、STAT LED が点滅し設定モードでれんら君が起動します。
- ④ 設定スイッチを押すのを止めます。
- ⑤ 再度、設定スイッチを数秒押し続けて、STAT LED が消灯、れんら君が再起動します。

[2] 初期化（工場出荷状態）しましたので再度、れんら君の設定をしてください。

## 13-2 遠隔操作を制限する

システムタブでシステム制御設定が行えます。



れんら君の一覧で検出されないように存在を隠す場合にチェックをつけます。これを設定した後、れんら君の設定変更ができなくなるので注意してください。

設定更新時にれんら君が自動で設定モードになることを禁止する場合は、チェックをつけます。この場合は、手動で設定モードに切り替えなければ、れんら君の設定は更新されません。手動で設定モードに切り替える方法は、前のページを参照してください。

入力監視停止時に、実行されている出力処理をクリアせず継続させる場合にチェックをつけます。デフォルトは出力クリアですが、その場合でもコメントメールによる出力は実行されます。コメントメールについては、次の章を参照ください。



## 14 コマンドメール機能

### 14-1 コマンドメール機能について

コマンドメールとは、電子メールにより、れんら君の制御や状態取得を行う機能です。  
パソコンや携帯電話から電子メールを送ることで、遠隔地かられんら君の制御を行うことが出来ます。  
テキスト形式のメールに対応します。リッチテキスト形式（HTML 形式）のメールは対応しません。

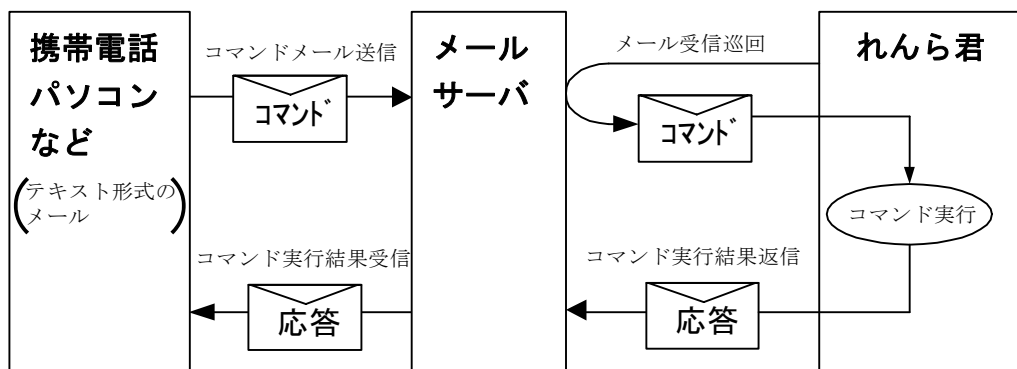


図 10-1 コマンドメール実行動作概要

コマンドメールにより、以下の機能を使用することが出来ます。  
(4～7 の機能は UNC-RP11 の Firmware Ver. 1.00 では未対応)

表 10-1 コマンド一覧

項番	コマンド名	機能
1	STATUS	れんら君の動作状態, 接点の入出力状態を取得します。
2	START	れんら君を状態監視状態にします。
3	STOP	れんら君の状態監視状態を解除します。
4	FSHOT	れんら君の出力接点を指定時間だけ ON します。
5	FON	れんら君の出力接点を強制出力状態にし、出力を ON に固定します。
6	FOFF	れんら君の出力接点を強制出力状態にし、出力を OFF に固定します。
7	FRESET	れんら君の出力接点の強制出力状態を解除し、通常出力に戻します。

## 14-2 コマンドメールの作成方法

### 14-2-1 コマンドメールのフォーマット

コマンドメールを送信するには、下記のように、件名、本文を入力する必要があります。

宛先	メールアドレスを入力します
件名	ユニット名を入力します
本文	ユーザID、パスワード、コマンドを入力します

図 10-2-1 コマンドメール入力項目

#### (1) 宛先

れんら君がメール受信を行うメールアドレスを入力します。

#### (2) 件名

れんら君のユニット名を半角英数で入力します。

れんら君は、件名欄に入力されたユニット名により、実行するコマンドメールを判別し、該当するメールのみ読込・実行します。

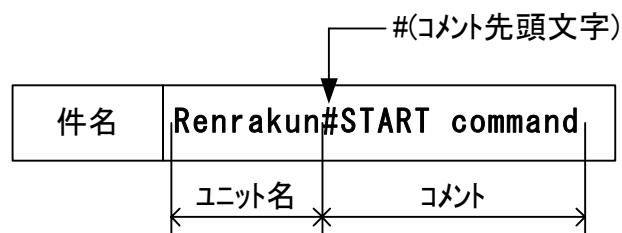
実行完了したメールは削除されます。

ユニット名の後ろにコメントを追加することも出来ます。

コメントを入力するには、れんら君のユニット名の後ろに#を入力し、その後にコメントを半角英数で入力します。

コメントの文字数は 40 文字までです。

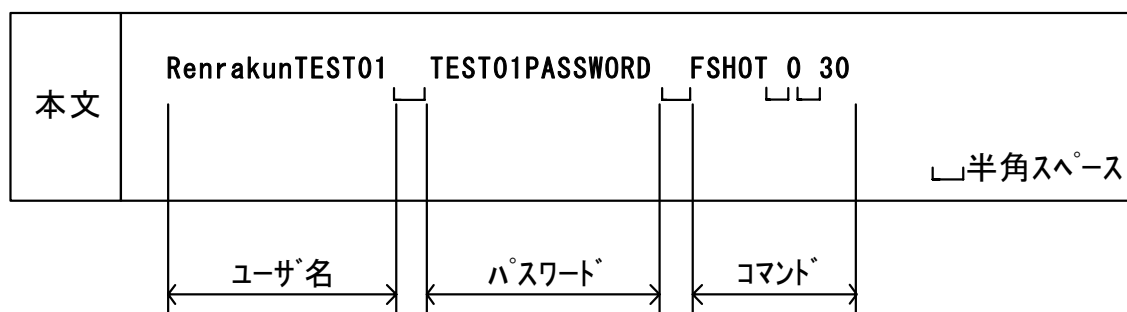
(例) れんら君のユニット名 : Renrakun  
コメントの場合 : START command



(3) メール本文

メール本文の最初の行に、認証用のユーザー名、パスワードと実行するコマンドを入力します。ユーザー名、パスワード、コマンド及び、コマンドの引数はそれぞれ 1 つの半角スペースで区切り、一行以内に入力します。  
行の終端の改行の有無は関係ありません。

(例) ユーザー名 : RenrakunTEST01  
パスワード : TEST01PASSWORD  
コマンド : FSHOT 0 30  
を実行する場合



(4) 応答先

コマンドメールの実行結果はメール送信元に返信されます。

(1) STATUS

れんら君の動作状態と接点の入出力状態を取得します。

<コマンド構文>

UNC-RP05、UNC-RP05A のとき

**STATUS**

UNCM-RP11 のとき

**STATUS [ステータス記号] . . . [ステータス記号]**

**ステータス記号** : 取得したいステータス情報の記号を指定します。  
読み出したい順に最大 5 つまで半角スペースで  
区切って指定してください。  
引数を省略した場合はすべてのステータス情報を  
読み出します。

U : エット状態

M : メール状態

I : 入力状態

O : 出力状態

S : モード状態

なし : すべてのステータス情報

## STATUSイベントでの表示項目

### UNIT STATUS

#### <UNIT> (ユニットの状態)

項目	意味
READY	動作中
ALART	装置異常

#### <EVENT> (要因監視の状態)

項目	意味
STOP	要因監視停止
START	要因監視中
ERR	要因監視異常

### MAIL STATUS

#### <NOTIFY> (メール送受信)

項目	意味
READY	正常動作中
TX-RETRY	メール送信リトライ中
TX-ERR	メール送信異常
RX-RETRY	メール受信リトライ中
RX-ERR	メール受信異常

#### <COMMAND> (コマンドメール)

項目	意味
READY	正常動作中
TX-RETRY	コマンドメール送信リトライ中
TX-ERR	コマンドメール送信異常

### I/O STATUS

#### <IN> (入力接点の状態)

項目	意味
ON	入力端子が 8V 以下の電圧になっている (入力が継続中)
OFF	入力端子が 18V 以上の電圧になっている (入力が入っていない)

#### <OUT> (出力接点の状態)

項目	意味 (リレ出力のときは括弧の中の意味になります)
ON	0V 出力を行っている (Xa と Xc がつながっている)
OFF	出力していない (Xb と Xc がつながり、Xa と Xc がつながっていない)
ON*	コマンドメールにより強制的に ON 状態になっている
OFF*	コマンドメールにより強制的に OFF になっている

### WATCH INPUT STATE

#### <STATE> (入力の要因状態)

項目	意味
NORMAL	入力の要因状態が[通常] になっている
ATTENTION	入力の要因状態が[注意] になっている
WARNING	入力の要因状態が[警報] になっている
PROTECT	入力の要因状態が[不感] になっている

<レスポンス>

```
+OK "STATUS"  
# UNIT STATUS  
  <UNIT>    READY  
  <EVENT>   START  
# MAIL STATUS  
  <NOTIFY>  READY  
  <COMMAND> READY  
# INPUT STATUS  
  <IN0>    OFF  
  <IN1>    OFF  
  <IN2>    OFF  
  <IN3>    OFF  
  <IN4>    OFF  
  <IN5>    ON  
  <IN6>    OFF  
  <IN7>    ON  
# OUTPUT STATUS  
  <OUT0>   OFF  
  <OUT1>   OFF  
  <OUT2>   OFF  
  <OUT3>   OFF  
  <OUT4>   OFF  
  <OUT5>   ON  
  <OUT6>   ON  
  <OUT7>   ON  
# WATCH INPUT STATE  
  <STATE0>  NORMAL  
  <STATE1>  NORMAL  
  <STATE2>  NORMAL  
  <STATE3>  NORMAL  
  <STATE4>  NORMAL  
  <STATE5>  ATTENTION  
  <STATE6>  PROTECT  
  <STATE7>  WARNING
```

UNC-RP05 の様に入力が 2 つ、出力が 1 つのタイプは  
IN0、IN1、OUT0、STATE0、STATE1 しか表示されません。

ここでの例は、UNCM-RP11 のものになります。

<例>入力状態と出力状態を読み出す場合

```
STATUS I 0
```

## (2) START

れんら君を状態監視状態にします。

<コマンド構文>

START

<レスポンス>

+OK "START"

## (3) STOP

れんら君の状態監視状態を解除します。

<コマンド構文>

STOP

<レスポンス>

+OK "STOP"

## (4) FSHOT

れんら君の出力接点を指定時間だけ ON します。  
出力接点が強制出力状態の時には実行できません。  
れんら君の型式によって、設定範囲が異なります。

<コマンド構文>

FSHOT [I/O 番号] [出力時間]

[I/O 番号] : I/O 番号を指定します。

■型式 UNCM-RP11 の場合

設定範囲 0~7 (出力接点 0 から 接点 7 に対応)

■型式 UNC-RP05 (A) の場合

設定値 0 (出力接点 0 のみ)

[出力時間] : 100ms 単位で指定します。

■型式 UNCM-RP11 の場合

設定範囲 1~4095 (0.1 秒~6 分 49.5 秒)  
(出力時間の誤差...0 から 最大+100ms)

■型式 UNC-RP05 (A) の場合

設定範囲 1~100 (0.1 秒~10 秒)  
(出力時間の誤差...0 から 最大+10ms)

<レスポンス>

+OK "FSHOT"

Output 0 1000ms pulse

<例>出力接点 0 に 2000ms 間、ONパルスを出力する場合

FSHOT 0 20

### (5) FON

れんら君の出力接点を強制 ON します。

FRESETコマンドによって強制出力を解除するまで強制出力状態は続きます。

<コマンド構文>

**FON [I/O 番号]**

**I/O 番号** :I/O 番号を指定します。

<レスポンス>

+OK "FON"

Output 2 force on

<例>接点 2 を強制 ON 状態にする場合

**FON 2**

UNC-RP05 の様に入力が 2 つ、出力が 1 つのタイプは接点が 0 しかありません。

ここでの例は、UNCM-RP11 のものになります。

### (6) FOFF

れんら君の出力接点を強制 OFF します。

FRESETコマンドによって強制出力を解除するまで強制出力状態は続きます。

<コマンド構文>

**FOFF [I/O 番号]**

**I/O 番号** :I/O 番号を指定します。

<レスポンス>

+OK "FOFF"

Output 3 force off

<例>接点 3 を強制 OFF 状態にする場合

**FOFF 3**

UNC-RP05 の様に入力が 2 つ、出力が 1 つのタイプは接点が 0 しかありません。

ここでの例は、UNCM-RP11 のものになります。

### (7) FRESET

れんら君の出力接点の強制出力状態を解除し、通常出力に戻します。

<コマンド構文>

**FRESET [I/O 番号]**

**I/O 番号** :I/O 番号を指定します。

<レスポンス>

+OK "FRESET"

Output 7 force reset

<例>接点 7 の強制出力状態を解除する

**FRESET 7**

UNC-RP05 の様に入力が 2 つ、出力が 1 つのタイプは接点が 0 しかありません。

ここでの例は、UNC-RP11 のものになります。



#### 14-4 エラーメッセージ

コマンドメールを実行することが出来ない場合、れんら君からエラーメッセージを含んだ応答メールを返信します。

エラーとなる要因は、以下の通りです。

##### (1) 認証失敗

〈エラーメッセージ〉

**-ERR unmatched USERNAME or PASSWORD**

〈エラーの要因〉

ユーザー名または、パスワードが設定された値と異なる為、認証に失敗。

ユーザー名または、パスワードに誤りがあると考えられます。

アルファベットの大文字・小文字の誤り、入力ミスが原因として考えられます。

メール形式がテキスト形式で無い時、認証に失敗します。

リッチテキスト形式（HTML 形式）のメールには対応していません。

##### (2) 無効なコマンド

〈エラーメッセージ〉

**-ERR "コマンド名" command not found**

〈エラーの要因〉

入力されたコマンドが、無効なコマンドの為、実行不可能。

入力されたコマンドに誤りがあると考えられます。

##### (3) コマンドフォーマット異常

〈エラーメッセージ〉

**-ERR "コマンド名" command argument count wrong**

〈エラーの要因〉

入力されたコマンドの引数の数が、定められたフォーマットと異なる。

##### (4) コマンド引数値異常

〈エラーメッセージ〉

**-ERR "コマンド名" command argument "引数名" wrong**

〈エラーの要因〉

入力されたコマンド引数値が、規定範囲外である。

##### (5) コマンド実行拒絶

〈エラーメッセージ〉

**-ERR "コマンド名" command not enough condition at 出力番号**

〈エラーの要因〉

入力されたコマンドの実行条件不成立の為、実行を拒絶。

出力接点が強制出力状態であることが原因として考えられます。

## 15 れんら君 BB TypeA5 CGI 対応版

- ・ れんら君 BB TypeA5 CGI 対応版は、外部入力を4段階の入力要因【注意】、【警報1】、【警報2】、【復帰】に分けて、メールの送信【通知メール】およびCGIの送信を行います。入力点数は2点で、1点毎に【注意】、【警報1】、【警報2】、【復帰】時にそれぞれ、通知メールを行います。

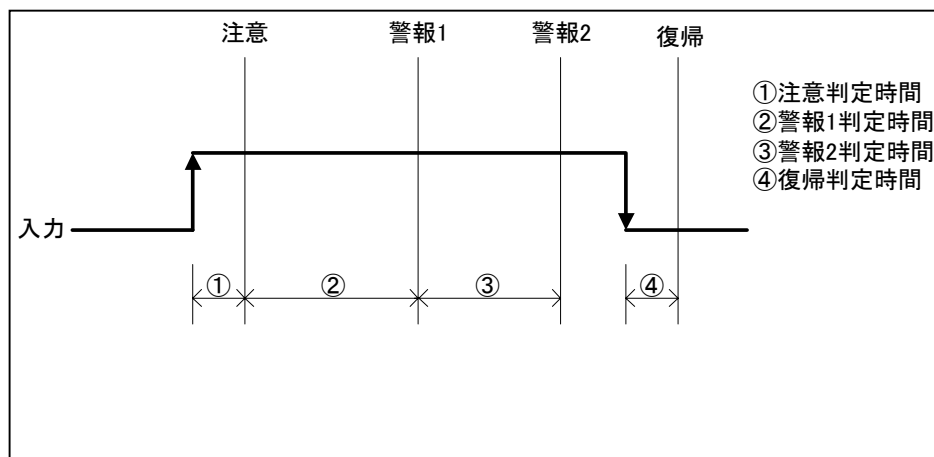


図1 TypeA5、TypeA5CGI入力要因図

- ・ 設定ソフトにはパナソニックWebカメラ本体にCGI検知機能の設定を行うためのツールは用意されていません。必要でありましたら、パナソニックWebカメラの販売店にお問い合わせください。

### 15-1 CGI 対応れんら君 BB 型式

型式：UNC-RP25P2A

ACアダプタ対応、パナソニック製 Webカメラの CGIトリガーコマンド 送出機能付き

### 15-2 CGI 送出機能概要

- ・ パナソニック製 Web カメラに対して、CGIトリガーコマンドを送出することができます。
- ・ れんら君 BB は入力検出要因が4つ（【注意】、【警報1】、【警報2】、【復帰】）あり、それぞれの要因に1つずつ登録することができます。
- ・ 各入力要因に別々の CGIトリガー番号を割り当てることができます。
- ・ CGIトリガーコマンドの送出タイミングは、メールの発報タイミングに同期しています。
- ・ メールを登録せずに、CGIトリガーコマンドの登録だけの運用ができます。
- ・ CGIトリガーコマンドの送出結果を管理者に電子メールで通報します。（メール送信設定がなされていること）
- ・ れんら君 TypeA5（UNC-RP05）の全機能を使用することが出来ます。

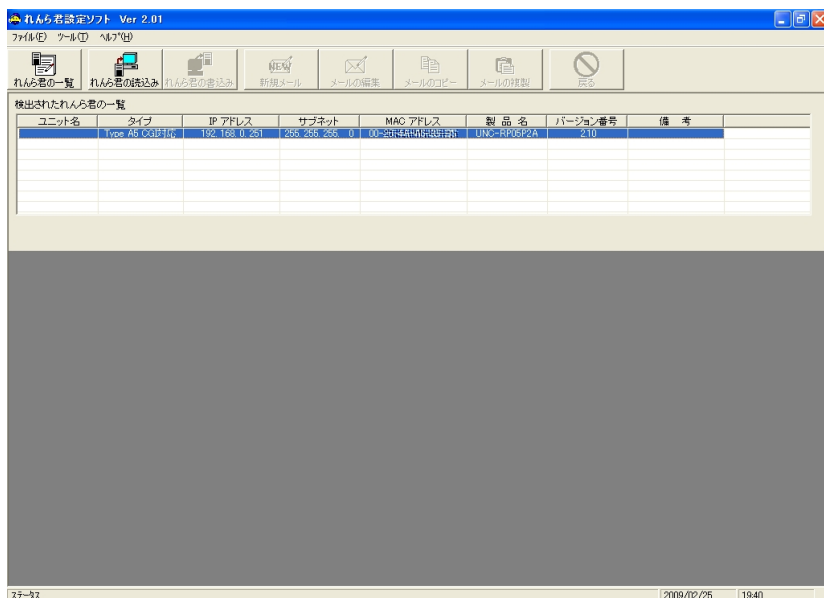
## 15-3 れんら君 BB の設定

### 15-3-1 ネットワーク設定

ネットワーク設定やメール設定等はれんら君 TypeA5 標準品と同等ですので、説明は割愛させていただきます。

### 15-3-2 れんら君 BB の検出

設定ツルの「れんら君の一覧」ボタンをクリックするとネットワークに接続されているれんら君 BB が検出できます。



CGI 対応れんら君が検出されると次のようにタイプ欄に「Type A5 CGI 対応」と表示されます。

ユニット名	タイプ
	Type A5 CGI対応

「れんら君の読み込み」ボタンをクリックするとれんら君 BB の設定を読み込みに行きます。



### 15-3-3 カメラ情報の設定

カメラ情報を設定します。

カメラの URL、管理者認証用ユーザー名や管理者認証用パスワードの設定は、CGIトリガーコマンドの登録の時に同時に行いますのでここではその他の設定項目を設定します。

ネットワーク設定	カメラ用 ID	Mail 送信設定	受信先メール設定	Mail コントロール設定
システム	<b>カメラ情報</b>	入力0要因設定	入力1要因設定	
HTTP ポート番号		8080	( 1 ~ 65534 )	
CGI 送信リトライ間隔		0	秒 ( 10 ~ 3600 ) [ 0 : リトライしない ]	
送信リトライ回数		0	回 ( 0 ~ 16 ) [ 0 : 無限回リトライする ]	
管理者通知先アドレス			( メールアドレス )	
<input checked="" type="checkbox"/> プロキシサーバを使用する				
プロキシサーバ設定の入力				

HTTPポート番号：Webカメラにアクセスする為のポート番号です。複数のカメラを設定するときもカメラのHTTPポート番号は共通です。

CGI 送信リトライ間隔：CGIリトライ間隔を設定します。0秒に設定したときは、CGI 送信リトライを行いません。設定できる最小リトライ間隔は10秒です。

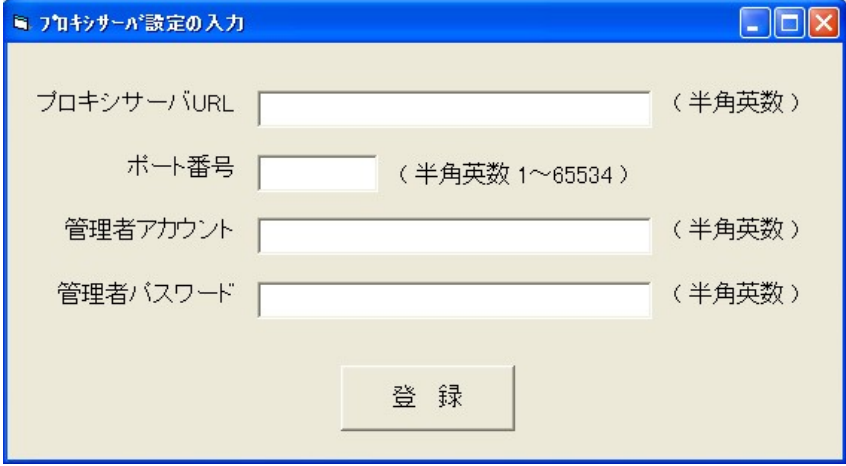
送信リトライ回数：CGI の送信リトライ回数を設定します。0を設定したときは無限回リトライします。CGI 送信リトライ間隔が0秒の設定のときは、送信リトライ回数を設定できません。  
この項目はCGIのリトライであって、CGIトリガーコマンドの送出した結果のメールをリトライする回数の指定ではありません。CGIトリガーコマンドの結果のメール送出手は一度切りです。ご注意ください。

管理者通知先アドレス：CGIトリガーコマンドを送出した結果を電子メールで通知する送り先アドレスです。CGIトリガーコマンドの送出手結果メールは送出手毎に一度だけでメール送信に失敗してもリトライは行いません。

プロキシサーバを使用する：プロキシサーバを使用するときはチェックを入れてください。そして、プロキシサーバの設定の入力を行ってください。

### 15-3-4 プロキシサーバの設定

プロキシサーバを設定します。カメラ情報タブで、「プロキシサーバを使用する」にチェックを入れ、プロキシサーバ設定の入力をクリックすると、設定を行うことができます。



プロキシサーバ設定の入力

プロキシサーバURL  (半角英数)

ポート番号  (半角英数 1~65534)

管理者アカウント  (半角英数)

管理者パスワード  (半角英数)

登録

プロキシサーバURL：プロキシサーバのURLを設定します。IPアドレスでも文字列でも対応します。文字列を入力したとき、ネットワーク設定タブで設定したDNSサーバに接続してDNS解決を行います。

書式は、IPアドレスが192.168.0.10のように数字のときは、192.168.0.10を入力してください。

http://nke.proxy.co.jp/のように文字列のときは、nke.proxy.co.jpを入力してください。

ポート番号：プロキシサーバにアクセスする為のポート番号です。

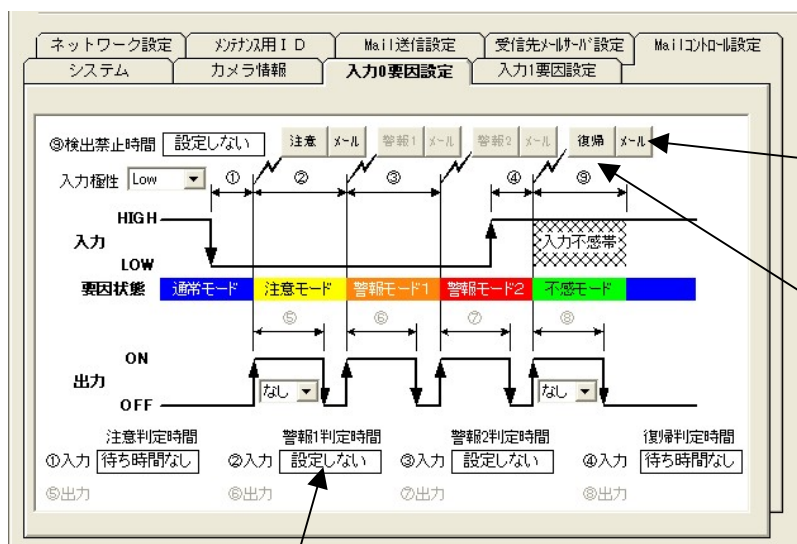
管理者アカウント：プロキシの認証用ユーザー名を入力してください。

管理者パスワード：プロキシの認証用パスワードを入力してください。

登録ボタンをクリックすれば、設定が保存され、プロキシ設定画面が閉じます。

### 15-3-5 CGIトリガーコマンドの設定

CGIトリガーコマンドの設定は、入力要因設定タブで行います。CGIトリガーコマンドは電子メールと同じタイミングで送出されます。



メール登録はそれぞれのメールボタンをクリックすれば、設定操作を行うことができます。

注意、警報1、警報2、復帰のボタンのいずれかをクリックするとその部分はピンク色になり CGI 登録バーが有効になります。

設定しないを選択すると、メールも CGI トリガーも登録できません。

注意、警報1、警報2、復帰のボタンをいずれかをクリックするとメール登録バーが CGI 登録バーに変更されます。メール登録するときにはメールボタンをクリックしてください。メール登録バーに変更されます。



新規 CGI : CGIトリガーコマンドを新規に設定します。

CGI の編集 : 登録していた CGIトリガーコマンド番号やカメラURL 等を編集します。

新規 CGIボタンをクリックするとカメラ制御 CGIトリガーコマンドの設定が表示されます。

カメラ制御CGIトリガーコマンドの設定

ファイル名：新規CGI

カメラURL (半角英数)

管理者認証用ユーザー名 (半角英数)

管理者認証用パスワード (半角英数)

カメラの制御命令(CGIコマンド)

- CGIコマンド1
- CGIコマンド2
- CGIコマンド3
- CGIコマンド4
- CGIコマンド5

キャンセル 登録

カメラURL：WebカメラのURLを設定します。IPアドレスでも文字列でも対応します。文字列を入力したとき、ネットワーク設定タブで設定したDNSサーバーに接続してDNS解決を行います。書式は、IPアドレスが192.168.0.252のように数字のときは、192.168.0.252を入力してください。http://nke.camera.co.jp/のように文字列のときは、nke.camera.co.jpを入力してください。カメラのポート番号は、「[15-3-3 カメラ情報の設定](#)」を参考に設定してください。

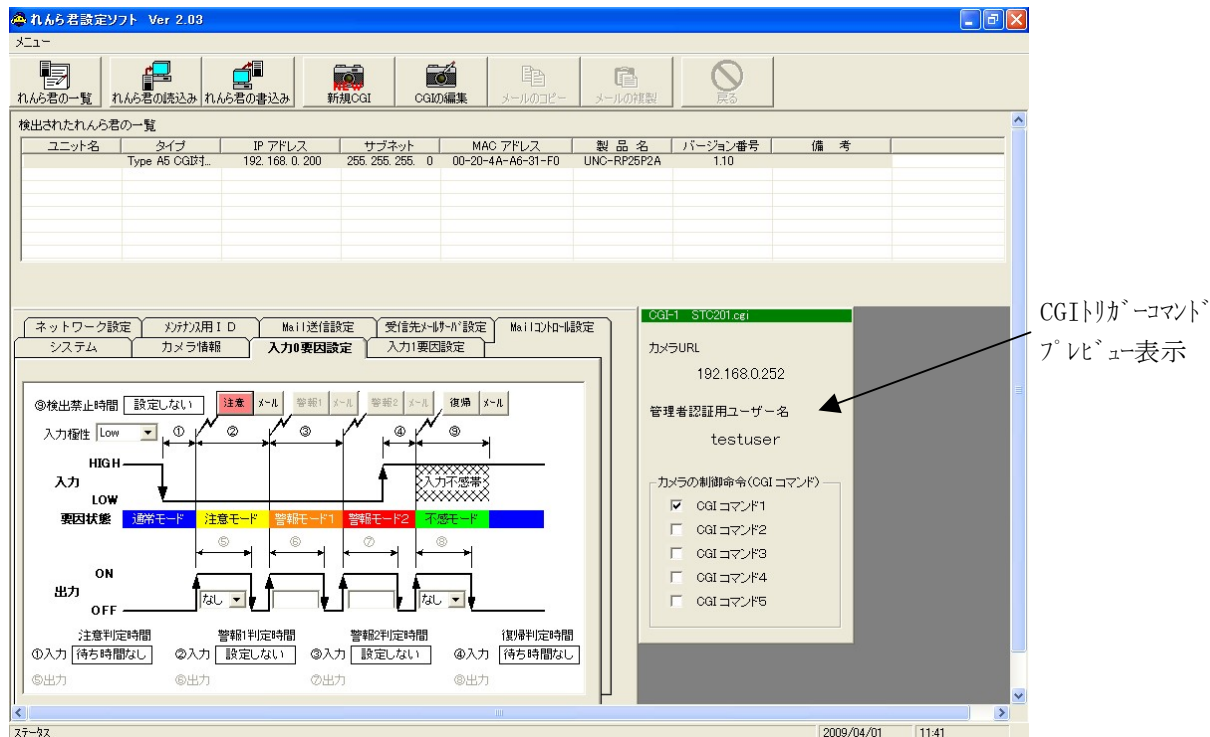
管理者認証用ユーザー名：Webカメラの認証用ユーザー名を入力してください。

管理者認証用パスワード：Webカメラの認証用パスワードを入力してください。

カメラの制御命令(CGIコマンド)：Webカメラに送出したいコマンド番号を選択してください。

登録ボタンをクリックすると設定値が保存されます。

CGIファイルを登録し、入力要因設定で設定登録している要因「注意、警報、復帰」のボタンをクリックすると CGIトリガーコマンド がプレビュー表示されます。削除したいときは、削除したい CGI がプレビューされているときにパソコンの「delete」キーを押してください。削除することができます。



プレビュー表示をダブルクリックするか、「CGI の編集」ボタンをクリックすれば、カメラ制御 CGIトリガーコマンド の設定が表示され、CGIトリガーコマンド 番号を変更することができます。CGIトリガーコマンド が不要であれば、プレビュー表示されているときにパソコンの「delete」キーを押してください。削除することができます。

設定が終われば、「れんら君の書込み」ボタンをクリックして設定をれんら君 BB に書き込んでください。



#### 15-4 CGIファイルの管理形態

れんら君設定ソフトで作成、登録される CGIトリガコマンドは番号をつけて管理されています。  
れんら君 BB UNC-RP25P2A での管理番号の付け方は基本的に同様になります。

##### CGIトリガコマンド管理表

UNC-RP25P2A (TypeA5 CGI)

	入力 0 要因設定 CGI	入力 1 要因設定 CGI
注意	STC201. CGI	STC211. CGI
警報 1	STC701. CGI	STC711. CGI
警報 2	STC801. CGI	STC811. CGI
復帰	STC101. CGI	STC111. CGI

作成した CGIトリガコマンドの表示画面や管理者に送信された CGIトリガコマンドの送出結果メールにどのタイミングの CGI 送出であったのかを知る為に、明記されています。

## 15-5 CGIトリガーコマンドの実態 (CGIタグ)

CGI を送出するときの CGIタグ は次のような構成になります。

CGIトリガー番号

```
GET http://192.168.0.252:65530/Set?Func=SoftTrigger&Kind=1 HTTP/1.1
Accept: text/plain
Accept-Language: ja
Accept-Encoding: gzip, deflate
User-Agent: NKE/1.0/UNC-RP
Host: 192.168.0.252:65530
Connection: Keep-Alive
Cache-Control: no-cache
Authorization: Basic dGVzdHVzZXI6dGVzdDAwMA==
Proxy-Connection: keep-alive
```

Webカメラの IPアドレス : ポート番号 / CGIコマンド

Webカメラの IPアドレス : ポート番号

Webカメラの認証コード

プロキシ認証設定にしたときは次のように、「Proxy-Authorization」のタグが付加されます。

CGIトリガー番号

```
GET http://192.168.0.252:65530/Set?Func=SoftTrigger&Kind=1 HTTP/1.1
Accept: text/plain
Accept-Language: ja
Accept-Encoding: gzip, deflate
User-Agent: NKE/1.0/UNC-RP
Host: 192.168.0.252:65530
Connection: Keep-Alive
Cache-Control: no-cache
Authorization: Basic dGVzdHVzZXI6dGVzdDAwMA==
Proxy-Connection: keep-alive
Proxy-Authorization: Basic cHJveH11c2VyOnByb3h5
```

Webカメラの IPアドレス : ポート番号 / CGIコマンド

Webカメラの IPアドレス : ポート番号

Webカメラの認証コード

プロキシの認証コード

認証コードはカメラ、プロキシ両方とも BASE64 にエンコードされています。

## 15-6 CGI 送出結果の管理者通報

### 15-6-1 CGI 送信障害管理

れんら君 BB では、ネットワークの論理的な不整合によるサーバーとの通信障害も一律にハードウェアの障害として扱われます。CGI 送信処理では、HTTPサーバー接続時に接続障害を検出し、障害管理を行います。HTTP 接続の、障害発生後(接続 NG・送信 NG)は、パラメータの「CGI 送信リトライ間隔」で、「送信リトライ回数」の間、接続・再送を繰り返します。接続できなかった「CGIリクエスト送信」要因番号に登録された CGI データファイルの送信は破棄されます。また、このタイミングで接続・送信できなかったリクエストファイルについて、管理者に「CGIリクエスト応答結果メール」を一括通報します。

ただし、管理者に通報する結果メールは一度送信エラーが起こると、そのときに送信しようとしていたメールはキャンセル扱いとなります。結果メールのリトライ機能はありませんのでご注意ください。

結果メールの構成は次のとおりになります。

- ・実行 CGI ファイル名
- ・実行 CGI リクエストコメント
- ・CGI リクエストコメント 対応受信レスポンスステータスライン
- ・各 CGI 対応 Return code 識別文字列と Return code 値

具体的には以下のようにになります。

```
STC201. CGI
GET /Set?Func=SoftTrigger&Kind=1 HTTP/1.1
HTTP/1.0 200 OK
正常終了(0)
```

Webサーバーにエラーがあると次のようになります。

```
STC101. CGI
GET /Set?Func=SoftTrigger&Kind=4 HTTP/1.1

サーバー接続 error(-1)
```

レスポンス応答例と管理者に通報するメールメッセージ例を次ページに記します。

### レスポンス応答例と管理者に通報するメールメッセージ例

Func	CGI 実行レスポンス応答 (受信レスポンスボディ)	メール通報メッセージ内容
SoftTrigger	Return: 0	STC201. CGI GET /Set?Func=SoftTrigger&Kind=5 HTTP/1.1 HTTP/1.0 200 OK 正常終了(0)
	Return:-1	STC201. CGI GET /Set?Func=SoftTrigger&Kind=5 HTTP/1.1 HTTP/1.0 200 OK Funcパラメータが無い(-1)
	Return:-2	STC201. CGI GET /Set?Func=SoftTrigger&Kind=5 HTTP/1.1 HTTP/1.0 200 OK Kindパラメータが無い(-2)
	Return:-4	STC201. CGI GET /Set?Func=SoftTrigger&Kind=5 HTTP/1.1 HTTP/1.0 200 OK Func or Kind 設定文字不正(-4)
	Return:-7	STC201. CGI GET /Set?Func=SoftTrigger&Kind=5 HTTP/1.1 HTTP/1.0 200 OK 一時保存/転送設定情報 NG(-7)
	Return:-11	STC201. CGI GET /Set?Func=SoftTrigger&Kind=5 HTTP/1.1 HTTP/1.0 200 OK 管理者アクセスではない(-11)
全 CGIリクエストコメント	レスポンスステータス番号が 「2**」以外の場合	STC201. CGI GET /Set?Func=SoftTrigger&Kind=5 HTTP/1.1 HTTP/1.0 408 Request Timeout 認識外の Return code(408)
全 CGIリクエストコメント	リクエストセッションNG (サーバ接続不可の場合)	STC201. CG GET /Set?Func=SoftTrigger&Kind=5 HTTP/1.1  サーバ接続 error(-1)

リクエストセッションNG のとき、3 行目の受信レスポンスラインは空行です。また、error 番号は、れんら君 BB 内部の error 管理番号になります。

CGI 登録ファイルの読み出し異常の時は、2 行目の CGI コメントは空行となります。

## 16 れんら君に接続できないときには

まず次のことを確認してください。

- (1) 本製品のPWR\_LEDが点灯していること。
- (2) 本製品の電源電圧が20.4～27.6Vの範囲にあること。
- (3) 配線、接続が確実であること。
- (4) IPアドレス設定が正確であること、他の機器と重複していないこと。

以下の症状別チェックリストを点検後、不具合を修正し本製品を再起動してください。

### 16-1 症状別チェックリスト

症状	チェック項目
10BASE LED, 100BASE LEDが消灯したまま変化しない。 PWR LEDが消灯したまま変化しない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● LANケーブルが正しく接続されているか。</li> <li>● 電源が投入されているか。</li> </ul>
10BASE LED, 100BASE LEDが点灯または点滅しているが、PWR LEDが赤点灯している。(UNC-RP05のとき)。 (UNCM-RP11のときは赤点滅)。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本製品のIPアドレスと同じアドレスを持っている機器が同じネットワーク内に接続されていないか。</li> <li>● LANケーブルが正しく配線されているか。</li> <li>● 電源ケーブル、電源が正しく配線, 設定されているか。</li> </ul> <p>周囲にノイズを発生させる機器がある場合は、HUBや通信ケーブルにノイズ対策を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● メール設定やネットワーク設定が正しいか。</li> </ul>
センサー信号を入力しているがメールが送信されない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● STAT LEDが緑点灯していないか。消灯時は状態監視解除中。</li> <li>● 入力LEDが点灯するか。(UNC-RP05のとき)</li> <li>● LANケーブルが正しく配線されているか。</li> <li>● 電源ケーブル、電源が正しく配線, 設定されているか。</li> <li>● メール設定やネットワーク設定が正しいか。</li> </ul>
LED表示は正しいが、パソコンかられんら君が確認できない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ファイウォールソフトがれんら君との接続を禁じていないか。</li> <li>● pingコマンドでれんら君のIPアドレスを確認できないか。</li> </ul> <p>pingコマンドでれんら君のIPアドレスを確認できないときは、ファイウォールソフトや、サブネットマスクの設定、IPアドレスのネットワーク部の不一致などが考えられます。</p>

## 17 トラブルシューティング

症状	チェック項目
通知メールの本文が確認できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>通知メールの内容は、【入力0 要因設定】等のタブで【注意メール】、【警報メール】、【復帰メール】をクリックすると通知メールが登録されていれば確認できます。ただし、れんら君設定ソフトは、ハイパーテキストと HTML 形式のメール本文の表示は対応しておりません。同様に、画像も表示できません。メール本文は TEXT 形式のみ表示します。</li> <li>旧設定ソフトで作成したメールは、本設定で表示すると文字化けします。</li> </ul>
以前に設定を行ったれんら君を【れんら君一覧】で見ましたが、設定が出荷状態になっている	<ul style="list-style-type: none"> <li>【れんら君一覧】では、れんら君の設定情報は取得できません。【れんら君の読込】を実行してください</li> </ul>
【れんら君の読込】、【れんら君の書込】で“れんら君が選択されていません”のメッセージが表示されて失敗する	<ul style="list-style-type: none"> <li>【れんら君一覧】のリストをクリックして対象を選択してから、もう一度、実行してください。</li> </ul>
【れんら君の読込】、【れんら君の書込】で“れんら君に接続できませんでした”のメッセージが表示されて失敗する	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>症状別チェックリスト</b> を参照してください</li> </ul>
【れんら君の書込】で“れんら君ネットワーク設定の○○の設定が異常です”のメッセージが表示されて失敗する	<ul style="list-style-type: none"> <li>【れんら君ネットワーク設定】の IPアドレス、サブネットマスク、ホスト名、デフォルトゲートウェイ、プライマリDNSサーバーの設定内容を確認してください。</li> </ul>
【れんら君の読込】、【れんら君の書込】で“ユーザー名、または、パスワードが違います”のメッセージが表示されて失敗する	<ul style="list-style-type: none"> <li>れんら君の管理者権限のパスワード認証に失敗しています。設定の【rootパスワード】の設定項目がれんら君に書き込まれている内容と Rootパスワード入力ダイアログに入力された内容と食い違ってしています。</li> </ul>
【れんら君の読込】で“入力要因、及び、通知メール出力の設定が見つかりません”のメッセージが表示されて失敗する	<ul style="list-style-type: none"> <li>れんら君が工場出荷状態で設定の一部が参照できない。【れんら君の書込】を実行してください</li> </ul>
【れんら君の書込】で“入力要因、及び、通知メール出力の設定に失敗しました”のメッセージが表示されて失敗する	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>症状別チェックリスト</b> を参照してください</li> </ul>

症状	チェック項目
【れんら君の読込】、【れんら君の書込】で“れんら君から応答が返ってこないか、通信が切断されています”のメッセージが表示されて失敗する	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>症状別チェックリスト</b> を参照してください</li> </ul>
【れんら君の読込】、【れんら君の書込】で“ご使用のパソコンがれんら君と通信できるIPアドレスに設定されていません”のメッセージが表示されて失敗する	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ご使用のパソコンをれんら君に通信が行えるネットワーク設定に変更してください。 (詳細については <a href="#">9章 設定</a> を参照してください)</li> </ul>
【れんら君の読込】、【れんら君の書込】で“入力要因、及び、通知メール出力の設定データの形式が異なります”のメッセージが表示されて失敗する	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 設定ソフトがれんら君に対応していません。れんら君に対応した設定ソフトでれんら君の設定を行ってください。</li> </ul>
メールの編集画面に表示されているメール本文が文字化けしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 旧バージョンのれんら君設定ソフトで作成したメールです。メールを読み込んだれんら君にもともと付属していた設定ソフトでメールを読み込むと文字化けはしません。本設定ソフトで再作成すると、文字化けすることなくメール本文を表示します。</li> </ul>
【れんら君の書込】で“設定の書込みに失敗しました”のメッセージが表示されて失敗する	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>症状別チェックリスト</b> を参照してください</li> </ul>
【れんら君の読込】、【れんら君の書込】で“通信処理でデータに誤りを発見しました”のメッセージが表示される	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>症状別チェックリスト</b> を参照してください</li> </ul>
コメントメールを送信するとエラーメッセージが返信される	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <a href="#">14-4 エラーメッセージ</a> を参照してください</li> </ul>
設定ソフトのインストール時、“エラー1931”が発生する	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>パソコンに存在する d11ファイルのバージョンが、設定ソフトでインストールする d11ファイルのバージョンより新しい場合に発生します。</b>インストールには影響を与えませんので、そのまま OKボタンなどでインストールを進めて下さい。</li> </ul>
設定ソフトを起動しようとするときエラーが発生し、設定ソフトが起動できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 以下の点についてご確認下さい。</li> <li>● パソコンのOSが対象のものか (<a href="#">4 動作環境</a> 参照)</li> <li>● セキュリティソフトが影響していないか (セキュリティソフトの設定を変更するか、セキュリティソフトを一時的に解除して下さい)</li> </ul>

## 18 更新履歴より 重要な不具合更新内容を抜粋

(更新履歴はれんら君設定ソフトがインストールされたフォルダ内に存在します。)

2012. 07. 20 (Ver2. 05. 9)

- れんら君本体のファームウェア更新に伴う修正 (メールの宛先、CC、Bcc のうちいずれかが 512KB 以上登録された場合、そのメールが破損してしまう不具合の修正)。

## NKE株式会社

---

本 社 工 場 〒617-0828 京都府長岡京市馬場岡所27	TEL 075-955-0071 (代) FAX 075-955-1063
さいたま事業所 〒337-0007 さいたま市見沼区丸ヶ崎町11-10	TEL 048-797-9671 (代) FAX 048-797-9672
名古屋営業所 〒460-0026 名古屋市中区伊勢山2丁目13-22(ビル金山)	TEL 052-322-3481 (代) FAX 052-322-3483
京都営業所 〒612-8487 京都市伏見区羽束師菱川町336-1	TEL 075-924-3293 (代) FAX 075-924-3290
伏見工場 〒612-8487 京都市伏見区羽束師菱川町336-1	TEL 075-931-2731 (代) FAX 075-934-8746

---

©2014 NKE Corporation